勉誠出版

中世文学会 会員様対象
特別割引のご案内

全品20%OFF

割引クーポンコード: 2a62f2173e
（期限：～2021年7月31日）

謹啓

薫風の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

当リストの新刊・近刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

https://bensei.jp

各種クレジットカード、paypal（クレジットカード・デビットカード）でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード：2a62f2173e（期限：～2021年7月31日）

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！
未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。

・2000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス（※ 海外への配送に関しては、実費を頂戴します）

＊ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
中世文学会の会員であることをお知らせください。

●ご連絡先

Mail　info@bensei.jp
電話　03-5215-9021
FAX　03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。

最新の出版総合目録は
右のQRコードから
ダウンロードいただけます。

勉誠出版 注文書

Email info@bensei.jp　FAX 03-5215-9025

※メール、FAX、郵送にてご注文を承ります。
※弊社ホームページのホーム画面上部のバナー「研究書 新刊・近刊のご案内」、もしくはお知らせ欄「研究書 新刊・近刊のご案内」より、注文書（PDFかエクセル）をダウンロードしてご記入のうえ、メールかFAXにて、お送りください。
※メールやFAXの送り状の本文に直接ご注文内容をご記載いただくかたちでも結構です。

ご送付先（氏名・住所・電話番号）

通信欄　※お支払い方法（公費・私費）、必要書類はこちらにご記入ください

※ISBNは978-4-585と末尾のチェックデジットを省略しています。

書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	税込価格	冊数
◆近刊（ご予約受付中！）						
書物・印刷・本屋―日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫　編	2021/6	30002	16,000	17,600	
創られた由緒―近世大和国諸社と在地神道家	向村九音　著	2021/6	31002	予価8,000	予価8,800	
首里城を解く―文化財継承のための礎を築く（仮）	高良倉吉　監修／島村幸一　編	2021/5	32001	3,800	4,180	
中世寺院の仏法と社会	永村眞　編	2021/5	31001	12,000	13,200	
古文書研究　第91号	日本古文書学会　編	2021/6	32401	3,800	4,180	
坂口安吾大事典（仮）	安藤 宏・十重田裕一・大原祐治　編集代表	2021/5	20079	15,000	16,500	
もう一度読みたい古典文学（仮）	三宅晶子　編	2021/5	39001	予価2,400	予価2,640	
大宅壮一文庫解体新書―雑誌図書館の全貌とその研究活用	阪本博志　編	2021/5	30001	3,500	3,850	
【鉄幹晶子全集40】鉄幹晶子全集　別巻8 ―拾遺篇　書誌・年譜	逸見久美ほか　編	2021/5	01093	9,000	9,900	
中国の都市の記憶（仮）	和田博文・李 征・王 志松・高 潔　編	未定	未定	未定	未定	
中国史書入門　現代語訳　北斉書	氣賀澤保規　監修／池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之　訳	2021/夏	29612	6,000	6,600	
ベトナム語空間ダイクシスとその展開―指示詞から文末詞・感動詞へ	安達真弓　著	2021/5	38001	10,000	11,000	
新しい産業創造へ	時実象一　監修／久永一郎　責任編集	2021/5	20285	2,500	2,750	
◆事典・総記						
江戸川乱歩大事典	落合教幸・阪本博志・藤井淑禎・渡辺憲司　編	2021/3	20080	12,000	13,200	
文化情報学事典	村上征勝 監修／金明哲・小木曽智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 編	2019/12	20071	18,000	19,800	
◆歴史・文化財・美術史・思想史						
古文書への招待	日本古文書学会　編	2021/1	22277	3,000	3,300	
増補改訂新版　日本中世史入門―論文を書こう	秋山哲雄・田中大喜・野口華世　編	2021/2	22280	3,800	4,180	
古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲　編 国立歴史民俗博物館　監修	2020/2	22272	7,800	8,580	
日本の表装と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人　編	2020/3	20073	7,000	7,700	
古文書研究　第90号	日本古文書学会　編	2020/12	22417	3,800	4,180	
渤海の古城と国際交流	清水信行・鈴木靖民　編	2021/2	22289	14,000	15,400	
古代の日本と東アジア　人とモノの交流史	鈴木靖民　著	2020/7	22279	10,000	11,000	
新羅中古期の史的研究	武田幸男　著	2020/7	22278	12,000	13,200	
大嘗祭―隠された古層	工藤隆・岡部隆志・遠藤耕太郎　編	2021/1	21057	3,800	4,180	
中世の博多とアジア	伊藤幸司　著	2021/2	22300	9,500	10,450	
戦国合戦図屏風の歴史学	高橋修　著	2021/2	22301	9,000	9,900	
金沢文庫古文書　喫茶関係編年資料集	永井晋　編	2020/9	22288	10,000	11,000	
鷹狩の日本史	福田千鶴・武井弘一　編	2021/2	22297	3,800	4,180	
中近世移行期の文化と古活字版	高木浩明　著	2020/12	20077	15,000	16,500	
歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子　著	2020/2	22257	10,000	11,000	
近世大名墓の考古学―東アジア文化圏における思想と祭祀	松原典明　編	2020/6	22276	12,000	13,200	
儒教儀礼と近世日本社会―闇斎学派の『家礼』実践	松川雅信　著	2020/7	21056	10,000	11,000	
勤番武士の江戸滞在記―国枝外右馬江戸詰中日記	岩淵令治　編	2021/5	32000	10,000	11,000	
生きるための地域史―東海地域の動態から	中村只吾・渡辺尚志　編	2020/10	22290	8,000	8,800	
日本近世社会と町役人	望月良親　著	2020/2	22266	6,000	6,600	
近世豪商・豪農の〈家〉経営と書物受容―北奥地域の事例研究	鈴木淳世　著	2020/2	22265	10,000	11,000	
近世都市の常態と非常態―人為的自然環境と災害	渡辺浩一／マシュー・デーヴィス　編	2020/2	22267	7,000	7,700	
江戸日本橋商人の記録―〈にんべん〉伊勢屋高津伊兵衛家の古文書	澤登寛聡・筑後則　編	2020/3	22269	11,000	12,100	
甦る「豊後切支丹史料」―バチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より	松井洋子・佐藤孝之・松澤克行　編	2020/2	22261	12,000	13,200	
琉球船漂着者の「聞書」世界―『大島筆記』翻刻と研究	島村幸一　編	2020/3	29197	10,000	11,000	
新彰義隊戦史	大蔵八郎　編	2020/9	22285	7,000	7,700	
明治の一発屋芸人たち―珍芸四天王と民衆世界	永嶺重敏　著	2021/1	27058	3,500	3,850	
アーネスト・サトウと蔵書の行方―『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって	小山騰　著	2020/11	20078	4,200	4,620	
土地の記憶から読み解く早稲田―江戸・東京のなかの小宇宙	ローザ・カーロリ　著／大内紀彦、フィリッポ・ドルネッティ　訳	2021/3	22299	2,700	2,970	
ロマノフ王朝時代の日露交流	東洋文庫・生田美智子　監修／牧野元紀　編	2020/8	22286	3,800	4,180	
スイス使節団が見た幕末の日本―ブレンワルド日記1862-1867	横浜市ふるさと歴史財団・ ブレンワルド日記研究会　編	2020/6	22275	9,800	10,780	
日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人　著	2020/2	22268	17,000	18,700	
日本画の所在―東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮　編	2020/4	27055	6,500	7,150	
パブリック・ヒストリー入門―開かれた歴史学への挑戦 【オンデマンド新版】	菅豊・北條勝貴　編	2021/5	82254	4,800	5,280	
新装版　唐物と東アジア―舶載品をめぐる文化交流史	河添房江・皆川雅樹　編	2021/4 二刷 （2016/2初版）	22140	2,000	2,200	
観相の文化史	相田満　著	2021/2	29203	9,000	9,900	
改訂新版　中国学入門―中国古典を学ぶための13章【オンデマンド版】	二松學舍大学文学部中国文学科　編	2021/4	80056	1,600	1,760	
宋代中国都市の形態と構造	伊原弘　著	2020/6	22069	4,500	4,950	
描かれたマカオ―ダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史	貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇　編	2020/4	22262	22,000	24,200	
上海におけるプロテスタント―現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷	村上志保　著	2020/5	21055	6,000	6,600	
ラジオの技術・産業の百年史―大衆メディアの誕生と変遷	岡部匡伸　著	2021/3二刷 （2020/12初版）	22295	5,400	5,940	
絶滅危惧種を喰らう	秋道智彌・岩崎望　編	2021/1	24014	3,200	3,520	
パリ・ノートル=ダム大聖堂の伝統と再生―歴史・信仰・空間から考える	坂野正則　編	2021/3	31000	8,000	8,800	
メソアメリカ文明ゼミナール	伊藤伸幸　監修／嘉幡茂・村上達也　編	2021/1	22296	5,000	5,500	
現代ドイツへの視座―歴史学的アプローチ　2 ナチズム・ホロコーストと戦後ドイツ	石田勇治・川喜田敦子　編	2020/9	22513	6,000	6,600	
現代ドイツへの視座―歴史学的アプローチ　3 ドイツ市民社会の史的展開	石田勇治・川喜田敦子・平松英人・辻英史　編	2020/9	22514	6,000	6,600	
「本読み」の民俗誌　交叉する文字と語り	川島秀一　著	2020/6	23081	3,500	3,850	
メディアのなかの仏教　近現代の仏教的人間像	森覚　編	2020/5	21054	7,500	8,250	
渋沢敬三とアチック・ミューゼアム―知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷	加藤幸治　著	2020/1	22263	3,500	3,850	

書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	税込価格	冊数
荒れ野の六十年—東アジア世界の歴史地政学	與那覇潤　著	2020/1	22264	3,200	3,520	
◆古典文学・文学史						
物語文学の諸相と展開	中野幸一　著	2021/3	39000	12,000	13,200	
中世和歌論—歌学と表現と歌人	中川博夫　著	2020/11	29199	12,000	13,200	
和漢朗詠集とその享受　増訂版	三木雅博　著	2021/1	29202	15,000	16,500	
真田幸弘点取百韻　翻刻と解題	玉城司・小幡伍　編著	2021/2	29204	9,000	9,900	
中国古典文学に描かれた厠・井戸・簀—民俗学的視点に基づく考察	山崎藍　著	2020/11	29200	9,000	9,900	
韓国・朝鮮説話学の形成と展開	金廣植　著	2021/2	29201	11,000	12,100	
挑発する軍記	大津雄一　著	2020/10	22292	3,800	4,180	
江戸庶民のまじない集覧—創意工夫による生き方の智恵	長友千代治　著	2020/10	20076	6,000	6,600	
医学・科学・博物　東アジア古典籍の世界	陳捷　編	2020/2	20072	12,000	13,200	
水門—言葉と歴史　第二十九号	水門の会　編	2020/1	22443	3,500	3,850	
本朝文粋抄　六	後藤昭雄　著	2020/2	29224	3,200	3,520	
仙洞句題五十首・水無瀬殿恋十五首歌合　全注釈	石川一　編	2020/3	29195	10,000	11,000	
南方熊楠と日本文学	伊藤慎吾　著	2020/3	22270	7,000	7,700	
幕末明治の社会変容と詩歌	青山英正　著	2020/2	29196	10,000	11,000	
明治の教養—変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉	鈴木健一　編	2020/1	29193	7,500	8,250	
杜甫研究年報　第三号	日本杜甫学会　編	2020/5	29443	2,000	2,200	
杜甫研究年報　第四号	日本杜甫学会　編	2021/4	39444	2,000	2,200	
お伽草子超入門	伊藤慎吾　編	2020/7	29188	2,800	3,080	
白居易研究年報　最終号・第20号　特集　歌舞音曲—附　日本国内白居易研究文献解題目録	白居易研究会　編	2020/9	07098	9,000	9,900	
吉田松陰と学人たち	徳田武　著	2020/9	22291	10,000	11,000	
漱石文体見本帳	北川扶生子 著	2020/12	9189	2,800	3,080	
ビジュアル資料でたどる 文豪たちの東京	日本近代文学館 編	2020/4	29163	2,800	3,080	
同性愛文学の系譜—日本近現代文学におけるLGBT以前／以後	伊藤氏貴 著	2020/2	29191	2,800	3,080	
平川祐弘決定版著作集 ダンテ『神曲』講義	平川祐弘 著	2020/2	29422	10,000	11,000	
平川祐弘決定版著作集 西洋人の神道観—日本人のアイデンティティーを求めて	平川祐弘 著	2020/3	29416	8,000	8,800	
平川祐弘決定版著作集 東の自生観と西の創造観	平川祐弘 著	2020/3	294281	4,000	4,400	
平川祐弘決定版著作集 開国の作法	平川祐弘 著	2020/4	294291	4,000	4,400	
平川祐弘決定版著作集　アーサー・ウェイリー『源氏物語』の翻訳者	平川祐弘 著	2020/7	29424	14,000	15,400	
アメリカ現代詩入門—エズラ・パウンドからボブ・ディランまで	原成吉 著	2020/2	29192	3,500	3,850	
100人の作家で知る ラテンアメリカ文学ガイドブック	寺尾隆吉 著	2020/3	29194	2,800	3,080	
◆日本語学・言語学						
日本語文字論の挑戦—表記・文字・文献を考えるための17章	加藤重広・岡墻裕剛 編	2021/3	38000	7,000	7,700	
コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究	近藤明日子 著	2021/2	28052	8,500	9,350	
日本書紀声点本の研究	鈴木豊 著	2020/3	28048	14,000	15,400	
龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録 元亨版 翻刻および総索引	佐々木勇 主編	2020/4	28050	18,000	19,800	
近世後期テニヲハ論の展開と活用研究	遠藤佳那子 著	2020/1	28047	8,000	8,800	
論究日本近代語 第1集	日本近代語研究会 編	2020/3	28521	15,000	16,500	
サハ語文法—統語的派生と言語類型論的特異性	江畑冬生 著	2020/4	28049	9,800	10,780	
続 岐点の軌跡 老いてなお岐点あり—老いてなお岐点あり	北原保雄 著	2020/4	28503	4,500	4,950	
◆図書館学・アーカイブ						
日本の図書館建築—建築からプロジェクトへ	五十嵐太郎・李明喜 編	2021/3	20074	3,500	3,850	
ささえあう図書館—「社会装置」としての新たなモデルと役割【オンデマンド版】	青柳英治　編著／岡本真　監修	2021/3	90039	1,800	1,980	
【デジタルアーカイブ・ベーシックス4】アートシーンを支える	高野明彦 監修／嘉村哲郎 責任編集	2020/12	20284	2,500	2,750	
【デジタルアーカイブ・ベーシックス3】自然史・理工系研究データの活用	井上透 監修／中村覚 責任編集	2020/4	20283	2,500	2,750	
【ライブラリーぶっくす】司書のお仕事2　本との出会いを届けます	大橋崇行 著／小曽川真貴 監修	2020/10	20075	1,800	1,980	
【ライブラリーぶっくす】変化する社会とともに歩む学校図書館	野口武悟　著	2021/4	20081	2,200	2,420	
◆統計学						
この本を書いたのは誰だ？—統計で探る“文章の指紋”	村上征勝 著	2020/4	29198	1,800	1,980	
R・Pythonによる 統計データ科学	杉山髙一・藤越康祝 監修	2020/2	24011	2,700	2,970	
◆アジア遊学						
242　中国学術の東アジア伝播と古代日本	榎本淳一・吉永匡史・河内春人　編	2020/1	22708	2,800	3,080	
243　中央アジアの歴史と現在—草原の叡智	松原正毅　編	2020/3	22709	2,400	2,640	
244　前近代東アジアにおける〈術数文化〉	水口幹記　編	2020/3	22710	3,200	3,520	
245　アジアの死と鎮魂・追善	原田正俊　編	2020/3	22711	2,800	3,080	
246　和漢のコードと自然表象—十六、七世紀の日本を中心に	島尾新・宇野瑞木・亀田和子　編	2020/4	22712	2,800	3,080	
247　移動するメディアとプロパガンダ —日中戦争期から戦後にかけての大衆芸術	西村正男・星野幸代　編	2020/4	22713	2,800	3,080	
248　明治が歴史になったとき　史学史としての大久保利謙	佐藤雄基　編	2020/6	22714	2,800	3,080	
249　漢学とは何か　漢唐および清中後期の学術世界	川原秀城　編	2020/7	22715	2,800	3,080	
250　酔いの文化史　儀礼から病まで	伊藤信博　編	2020/8	22716	2,800	3,080	
251　仏教の東漸と西漸	荒見泰史　編	2020/9	22717	2,800	3,080	
252　中世日本の茶と文化　生産・流通・消費をとおして	永井晋　編	2020/9	22718	2,800	3,080	
253　ポストコロナ時代の東アジア　新しい世界の国家・宗教・日常	玄武岩・藤野陽平　編	2020/9	22719	2,800	3,080	
254　東アジアの歌と文字	真下厚・遠藤耕太郎・波照間永吉　編	2021/2	32500	2,800	3,080	
255　東アジアにおける知の往還	国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院　共編	2021/3	32501	2,800	3,080	
◆書物学						
第18巻　蔵書はめぐる　海外図書館の日本古典籍コレクション	編集部　編	2020/7	20718	1,800	1,980	

日本中世史・仏教史

中世寺院の仏法と社会

永村 眞【編】

中世日本において寺院は、宗教的な施設のみならず、
貴顕や武士等、様々な人々が行き交う、
政治・経済・文化形成にも大きな影響を有した場であった。
しかし、諸寺院内部で伝持されてきた史料群は、
その特質からアクセスが容易ではなく、
編者らによる寺院史料の調査・研究の方法論の構築により、
近年、大きな研究の進展を見せるようになった。
畿内近国、関東に所在する諸寺院に伝来する
史料群の博捜により、寺内・寺外の僧俗の
社会的かつ宗教的な関わりのなかで、
「日本仏教」を形づくる多彩な仏法とその発展を実現した
寺院社会の構造と思想的背景を立体的に描き出し、
中世寺院の歴史的特質と展開を明らかにする貴重な成果。

中世日本を読み解くための必読の書

【編者紹介】

永村 眞（ながむら・まこと）

一九四八年生まれ。日本女子大学名誉教授、人間文化研究機構理事、東大寺学術顧問。専門は日本中世史・中世仏教史。

著書に『中世東大寺の組織と経営』（塙諸房、一九八九年）、『中世寺院史料論』（吉川弘文館、二〇〇〇年）、『中世醍醐寺の仏法と院家』（吉川弘文館、二〇二〇年）などがある。

定価一三、二〇〇円（税込）
（本体一二、〇〇〇円）
A5判上製カバー装・六四〇頁
二〇二一年五月刊行
ISBN978-4-585-31001-3 C3015

【目次】

はしがき…永村 眞

I 醍醐寺の法流と修学
中世醍醐寺の顕・密「聖教」と法儀…永村 眞
南北朝内乱と清浄光院房玄…石田浩子
南北朝期から室町前期における理性院流と太元帥法別当職の相承
——理性院宗助と大覚寺證菩提院光覚の対立——…佐藤亜莉華
醍醐寺三宝院門跡満済の教学活動…姜 錫正
醍醐寺・根来寺と田舎本寺との寺僧交流
——尾張国万徳寺を通して——…藤井雅子
「義演准后日記」とその紙背文書…関口真規子
修法と秘号——五大虚空蔵法を通して——…井上清子
醍醐寺所蔵「野月」と松橋流秘点…高橋恵美子

II 寺院の法会と社会
中世南都の法華会…高山有紀
「春日権現験記絵」の編纂者…坪内綾子
中世東寺の修学活動——西院と観智院——…西 弥生
十五世紀における北野社領西京と西京神人…三枝暁子
春日社神供備進と興福寺学侶…高山京子
室町将軍家の比丘尼御所と根本所領…小谷量子

III 中世の仏法と寺院
摂関期・院政期における聖徳太子信仰と女性
——四天王寺に集った女性たち——…榊原史子
鎌倉前期寺院社会の禅宗理解…矢野立子
中世「律院」と「結界」…飯田晶子
中世鑁阿寺の寺内組織…中田 愛
雑賀衆の戦いと鈴木孫一…三浦早織
あとがき…藤井雅子

書名	部数
中世寺院の仏法と社会 永村 眞【編】 定価13,200円（税込）・本体12,000円 A5判・上製カバー装・640頁 2021年5月刊行 ISBN978-4-585-31001-3 C3015	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

創られた由緒
近世大和国諸社と在地神道家

向村九音〈著〉

「古え」は、いかにして語られたのか——

近世中葉、幕府・藩の統制のもと社寺の秩序化が行われるようになると、社寺の復興、復権などを目的として「由緒」が希求されるようになった。それら「由緒」を説く任にあたったのは、神職や僧侶、そして神道家（神学者）であった。石上神宮・大神神社・大和神社といった山辺の古社をはじめとして大和国諸社の由緒記を述作した在地神道家、今出河一友。由緒正しき伝——「失われた古伝」、「俗説とは異なる真の伝」の創出を企図した彼は、いかなる方法を用いて、歴史的・文化的正統性を描き出したのか。また、その言説は、地域社会において、どのように受容され、伝播していったのか。「古え」「淵源」を語る営みの意味を捉えかえす画期的著作。

【目次】

第一章　今出河一友概説
第二章　今出河一友による石上神宮由緒記の生成—「家の由緒」との連関
第三章　『大三輪神三社鎮座次第』の成立と言説の共有
附　論　『大乗院寺社雑事記』を中心に見る率川神社——中世期に形成された像と機能
第四章　『大倭神社注進状並率川神社記附裏書』に見る大和国諸社の由緒再編
第五章　近世期穴師神社における由緒生成と古伝の「再発見」
第六章　近世における石上神宮鎮魂祭儀礼次第生成の位相
結び　今出河一友著作・書写本の一覧
附表Ⅰ　大阪府立中之島図書館石崎文庫所蔵大神宗次関連典籍の一覧
附表Ⅱ　國學院大學図書館所蔵『鎮魂祭略儀式』
翻刻資料
参考文献一覧・あとがき・初出一覧・索引

さきむら・ちかね——奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程、満期退学。博士（文学）。現在、日本学術振興会特別研究員。専門は日本中世～近世の文学。主な論文に「『大乗院寺社雑事記』を中心に見る率川社——中世期に形成された像と機能」（『叙説』43、奈良女子大学日本アジア言語文化学会、二〇一六年）、「今出河一友による石上神宮由緒記の生成——「家の由緒」との連関」（『説話文学研究』55、説話文学会、二〇二〇年）などがある。

定価八、八〇〇円（税込）
［本体八、〇〇〇円］
A5判上製カバー装・二八八頁
二〇二一年六月刊行
ISBN978-4-585-31002-0 C3014

書　名	部　数
創られた由緒 近世大和国諸社と在地神道家 向村九音〈著〉 定価8,800円（税込） 本体8,000円 A5判・上製カバー装・288頁 2021年6月刊行 ISBN978-4-585-31002-0 C3014	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

書物・印刷・本屋

日中韓をめぐる本の文化史

図版点数390超

藤本幸夫〈編〉

（ふじもと・ゆきお）富山大学名誉教授、麗澤大学客員教授。専門は朝鮮語学・朝鮮文献学。二〇二一年学士院賞・恩賜賞を受賞。著書に『日本現存朝鮮本研究　集部』（京都大学学術出版会、二〇〇六年）、『日韓漢文訓読研究』（編著、勉誠出版、二〇一四年）、『龍龕手鏡〈鑑〉研究』（編著、麗澤大学出版会、二〇一五年）、『日本現存朝鮮本研究　史部』（韓国東国大学出版部、二〇一八年）などがある。

中国、朝鮮半島、日本に伝播した書物文化は、各国各地に於いて民間の商業出版――坊刻本――の深淵かつ絢爛な世界を形づくっていった。

書籍の出版から販売・読書にいたる具体的な諸相、即ち潤筆料・版下・刻版・彫師・摺師・版木・料紙・装幀・本屋・貸本屋・書価・出版部数・流通・読者・版株・印刷術・禁書・和刻・出版統制等々を中心に、

書物史研究を牽引する珠玉の執筆者35名による知見を集結、390点を超える図版資料を収載した

日中韓の知の世界を彩る
書物文化を知るためのエンサイクロペディア。

◉第一部――書物のかたち・書物のジャンル
◉第二部――印刷・活字・技術
◉第三部――本屋・商業出版・蔵書

〈本書の特色〉

◉書物のジャンル、形態、印刷技術、本屋や商業出版の諸相など、日中韓の書物文化史を詳細に記述したレファレンスツールとして最適の百科事典的書籍。
◉書誌学・出版史・印刷史など、書物研究の第一線を走るオールスターが集結した画期的な一冊。
◉学士院賞、ゲスナー賞、日本出版学会賞、角川源義賞、岩瀬弥助記念書物文化賞等、様々な受賞歴を有する執筆陣が寄稿。
◉390点を超える貴重な図版資料を収載。

定価一七、六〇〇円（税込）
（本体一六、〇〇〇円）
B5判上製カバー装・八九六頁
二〇二一年六月刊行
ISBN978-4-585-30002-1 C3000

執筆者一覧――

◉第一部：佐々木孝浩・柏崎順子・木村八重子・棚橋正博・佐藤至子・鈴木圭一・石上阿希・大久保純一・湯浅淑子・鈴木俊幸・万波寿子・鈴木達彦
◉第二部：住吉朋彦・堀川貴司・長澤孝三・豊島正之・林進・高木浩明・森上修・小秋元段・渡辺守邦・橋口侯之介・永井一彰
◉第三部：鈴木俊幸・塩村耕・長友千代治・岡村敏二・大沼晴暉・大木康・大塚秀高・金文京・上原究一・高橋智・藤本幸夫・李胤錫・全相昱

…詳細目次は裏面をご覧ください。

書名		部数
書物・印刷・本屋 日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫［編］	部

定価17,600円・本体16,000円
B5判上製カバー装・896頁
2021年6月刊行
ISBN978-4-585-30002 C3000

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

書物・印刷・本屋
日中韓をめぐる本の文化史

藤本幸夫［編］

定価一七、六〇〇円・本体一六、〇〇〇円
B5判上製カバー装・八九六頁
二〇二一年六月刊行・ISBN978-4-585-30002-1 C3000

〈詳細目次〉

序文……藤本幸夫

◉第一部——書物のかたち・書物のジャンル

佐々木孝浩……〈古写本〉日本の写本——装訂を中心として
柏崎順子……〈江戸版〉初期出版界の様相
木村八重子……〈草双紙〉「草双紙」の史的展望
棚橋正博……〈黄表紙〉黄表紙
佐藤至子……〈合巻〉合巻における自主規制——『三国太郎再来伝』から『現世扶桑太郎』へ
鈴木圭一……〈中本（人情本）〉中本」編三冊意識
石上阿希……〈春画・艶本〉「書籍目録」にみる枕絵と好色本
大久保純一……〈錦絵〉錦絵とは
湯浅淑子……〈おもちゃ絵〉江戸のおもちゃ絵
鈴木俊幸……〈草紙類〉上方の草紙類をめぐって
万波寿子……〈仏書〉日本の仏書
鈴木達彦……〈医書〉日本漢方の特質と日本医書

◉第二部——印刷・活字・技術

住吉朋彦……〈宋版・元版〉宋元版研究の道程
堀川貴司……〈五山版〉五山版をどう考えるか
長澤孝三……〈和刻本〉「和刻本」について
豊島正之……〈キリシタン版〉キリシタン文献
林進……〈古活字版〉角倉素庵はなぜ出版事業を興したのか——近世初頭、草創期の古活字版
高木浩明……〈古活字版〉古活字版から整版へ、整版から古活字版へ
森上修……〈古活字版〉古活字版印刷と木活字駒の彫出技法
小秋元段……〈出版史料としての反古〉東北大学附属図書館漱石文庫所蔵古活字版『太平記鈔音義』表紙の復原的考察
渡辺守邦……〈出版史料としての反古〉表紙裏反古・再考
橋口侯之介……〈彫りと摺り〉彫師・摺師から見た日本の出版形態
永井一彰……〈版木〉板木の節

◉第三部——本屋・商業出版・蔵書

鈴木俊幸……〈日本近世の本屋〉本屋と出版——江戸時代における書籍文化の特質
塩村耕……〈日本近世前期の商業出版〉近世前期の出版界と西鶴
長友千代治……〈貸本屋〉貸本屋の横顔
岡村敬二……〈蔵書・蒐書（日本）〉蔵書家の索引、蔵版、蔵書の行方
大沼晴暉……〈蔵書・蒐書（日本）〉田中さんのおもちゃ箱——小平市立図書館蔵本
大沼晴暉……〈日中韓の商業出版〉日中韓坊刻本の比較研究或いは此等三か国書物の比較研究のために
大木康……〈中国の商業出版〉中国書肆史考——近世を中心に
大塚秀高……〈中国の商業出版〉坊刻本と物語——口頭の物語の出版について
金文京……〈中国の商業出版〉明代建陽の商業出版と通俗小説
上原究一……〈中国の商業出版〉明末清初の坊刻における江西の位置付けについて
髙橋智……〈蔵書・蒐書（中国）〉中国の蔵書家について
藤本幸夫……〈朝鮮の商業出版〉朝鮮坊刻本攷
李胤錫……〈朝鮮の商業出版〉朝鮮朝出版における坊刻本の性格と位置
全相昱……〈朝鮮の商業出版〉坊刻本「春香伝」の発生とその変貌について

あとがき……藤本幸夫
執筆者一覧

もう一度読みたい日本古典文学

三宅晶子［編］

学校で教わっていた「古典」は実はこんなに面白かった！

『竹取物語』『平家物語』『徒然草』など、小・中学校・高校教科書に掲載される日本古典文学作品を中心にとりあげ、新しい読み方・楽しみ方、知っているとより作品が楽しめる豆知識などを多数の図版とともに解説。ライトノベルやアニメ・漫画などの題材になり現代にもつながる古典文学についても考察し、実際の教育現場での教え方・授業案なども紹介。**古典嫌いになってしまったあなたに贈る、新しい古典入門。**

［編者紹介］

三宅晶子（みやけ・あきこ）
横浜国立大学名誉教授・奈良大学教授。専門は中世日本文学（特に能楽）、古典教育。主な著書に『世阿弥は天才である――能と出会うための一種の手引き書』（草思社、一九九五年）、『歌舞能の確立と展開』（ぺりかん社、二〇〇一年）、『歌舞能の系譜――世阿弥から禅竹へ』（ぺりかん社、二〇一九年）などがある。

定価一、六四〇円（＋税）
（本体一、四〇〇円）
A5判並製カバー装・二八〇頁
二〇二一年六月刊行
ISBN978-4-585-39001-5　C0091

もくじ

楽しい古典文学と出会うために◎**三宅晶子**

第一部　日常のどこかで出会った古典文学

【百人一首】感じる『百人一首』◎**三宅晶子**
【神話】神話因幡の白ウサギ◎**高梨禎史**
【『竹取物語』】不死の薬をめぐる思い◎**山田香織**
【説話】繋がっている今と昔
――昔話「こぶとりじいさん」と『宇治拾遺物語』「鬼に瘤取らるる事」◎**三宅晶子**
【『義経記』】『義経記』義経像の変遷◎**長島裕太**
【国語教育】国語教育の役割と「古典」や「古文」の教育◎**府川源一郎**

第二部　学校で学んだ古典文学

【軍記】軍記教材を読みなおす
――二度目からの『平家物語』・「敦盛最期」「木曾最期」の場合◎**鈴木彰**
【『平家物語』】「敦盛最期」を読み直す◎**菊野雅之**
【『竹取物語』】『竹取物語』が「竹取の翁といふものありけり」と語り出される訳――絵本「かぐや姫」と『竹取物語』の冒頭部の比較から◎**武田早苗**
【『源氏物語』】紫式部と出会う◎**三宅晶子**
【『徒然草』】『徒然草』で学ぶ異文化◎**笠原美保子**
【中国説話】中国の「蟻通し」難題譚◎**岡田充博**
【漢詩】「長恨歌」と謫仙女楊貴妃◎**高芝麻子**
【古筆切】古典文学の本文を考える
――写本・古筆切の世界◎**徳植俊之**

第三部　現代社会で再生される古典

安倍晴明は、なぜスーパーヒーローになったのか。◎**一柳廣孝**
ライトノベル・少女小説・児童文庫から親しむ古典文学◎**山中智省**
古典と現代の言葉の接点を求めて◎**藤原悦子**
小学生と古典を楽しむ◎**渡辺寛子**
拡張する「古典」――デジタル時代における古典の役割と意味の変容◎**石田喜美**

書名	部数
もう一度読みたい日本古典文学 三宅晶子【編】 定価2,640円（＋税） A5判並製カバー装・280頁 2021年6月刊行 ISBN978-4-585-39001-5　C0091	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

中世和歌論
——歌学と表現と歌人

中川博夫［著］

和歌の学理と表現、
それを担う歌人たちの営為は、
どのような意識・観念のもとに
展開していったのか——

和歌の史的蓄積を自らの歌学の中に位置づけ、後の和歌と勅撰集のあり方を方向づけた俊成や定家。彼らの和歌観を直接・間接に選択・継承し、それぞれの和歌のあり方を模索していった為家や京極派。王朝和歌から連なる中世和歌の史的変遷を丁寧に紐解き、個々の特質と連続性を多面的に明らかにする待望の一書。

本体一二、〇〇〇円（＋税）
A5判上製カバー装・四九六頁
二〇二〇年十一月刊行
ISBN978-4-585-29199-2・C3092

［目次］

序言
序論
1 中古「本歌取」言説史論
2 本歌取説と実作の評価——定家の所説と秀歌撰歌をめぐって
3 古注の言説と和歌の実作と現代の注釈と——「括る」か「潜る」か
4 作意と解釈——『新古今集』の羈旅歌二首をめぐって
歌学論
5 『新勅撰和歌集』序の理念
6 『詠歌一体』論
7 『遂加』の方法
8 『越部禅尼消息』論
表現論
9 中世和歌表現史論
10 『土佐日記』の和歌の踪跡
11 「空に知る」考
12 「身を身」と「思ふ」考
京極派和歌各論
13 「けしき」の様相
14 「三日月」をよむ
15 〈軒〉をとおして
16 〈間〉にうかがう
歌人論
17 西行の影響——『十訓抄』と関東歌人に見る
18 臨終の俊成——「普賢品」を覚悟すること
19 妻の死・母の死——俊成・定家と『源氏物語』
20 治世の音・亡国の音——定家とその周辺
あとがき・初出一覧・索引

［著者プロフィール］
中川博夫（なかむら・ひろお）
鶴見大学文学部教授。専門は和歌文学。
主な論文に「鎌倉期関東歌壇の和歌——中世和歌表現史試論」（『中世文学』五九、二〇一四年）、「中世和歌表現史試論」（『国語と国文学』二〇一六年）、「実朝を読み直す——藤原定家所伝本『金槐和歌集』抄」（渡部泰明編『源実朝——虚実を越えて』勉誠出版、二〇一九年）などがある。

書名	部数
中世和歌論 **——歌学と表現と歌人** 中川博夫［著］ 本体12,000円（＋税） A5判上製カバー装・496頁 ISBN 978-4-585-29199-2・C3092 2020年11月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

日本古文書学会〈編〉

古文書への招待

過去の人びとのいとなみを読み取る

長屋王家符、北条政子書状、足利義教自筆御内書、
豊臣秀吉朱印状、薩長同盟覚書裏書……
過去の人びとが書き残した「古文書」にはいったい何が書かれているのか？
古代から近代にわたる全四十五点の古文書を丹念に読み解くことで、
古文書のもつ意味、それを記述した人びとの個性、
書かれた背景をなす歴史的事件を明らかにする。
また、文章の内容のみならず、文字の書かれ方、料紙、大きさなど、
「モノ」としての古文書にも焦点を当て、その魅力に迫る。

カラー図版をふんだんに配し、
全点に翻刻・現代語訳・詳細な解説を付した
恰好の古文書入門！

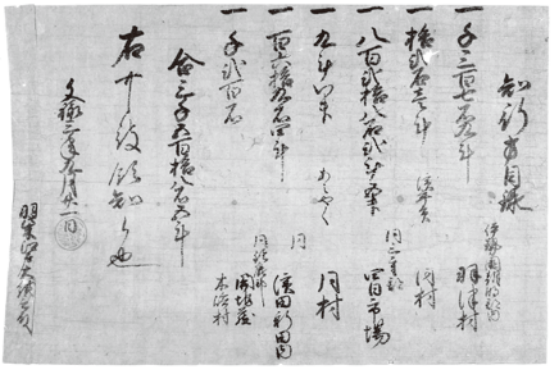
本体三、〇〇〇円（+税）
B5判並製カバー装・一七六頁（フルカラー）
二〇二一年一月刊行
ISBN978-4-585-22277-4 C1021

収録

〈1〉かたち
長屋王家符
他田日奉部直神護解
太政官符
源頼朝寄進状
伊賀国黒田荘悪党人縁者交名
武雄社大宮司都々亀丸代藤原通厚軍忠状
足利義滿書状案
足利義教自筆御内書
東寺款状
羽柴秀吉制札
徳川家康起請文
豊臣秀吉朱印状
開帳差免帳
交代寄合山名義蕃書置

〈2〉ひと
僧正聖宝置文
平清盛請文
北条時政請文
源頼朝書状
北条政子書状
東大寺大勧進重源自筆書状
高麗渤海関係某書状
藤原為家譲状
足利尊氏御判御教書
沙弥恵尊（小田孝朝）書状
足利義維御内書
武田信玄自筆願文
織田信長印判状
豊臣秀吉知行方目録
三井八郎右衛門宛寺井庄右衛門起請文
薩長同盟覚書裏書（坂本龍馬筆）

〈3〉できごと
太政官符写
源実朝袖判下文
右馬允康経書状
某書状案断簡
護良親王令旨
大蔵大輔某奉書
足利尊氏御判御教書
征西将軍宮令旨
今川了俊書下
栖雲斎歳阿書状
白川義親書状
丹羽長秀書状
毛利輝元起請文案
黒田如水（孝高）書状
五箇条の御誓文



豊臣秀吉知行方目録
関地蔵院所蔵
［画像提供・亀山市歴史博物館］

書　名	部　数
古文書への招待 日本古文書学会［編］ 本体3,000円（+税） B5判並製カバー装・176頁 2021年1月刊行 ISBN978-4-585-22277-4 C1021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/　FAX◉03-5215-9025

増補改訂新版

日本中世史入門
論文を書こう

国士舘大学文学部教授
秋山哲雄・
国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学准教授
田中大喜・
共愛学園前橋国際大学教授
野口華世〈編〉

歴史を学び、考えるために——

「歴史」はたんに過去の出来事をわれわれに伝えるのではなく、現代そして未来の人々の動向を規定する「力」を持っている。そこに学問として歴史を学ぶ意義が存在している。
それでは、われわれはどのように歴史と対話すべきなのか——歴史学の基本である論文執筆のためのメソッドと観点を日本中世史研究の最新の知見とともにわかりやすく紹介、歴史を学び、考えることの醍醐味を伝授する。

卒論・修論の執筆、指導にも最適！

2014年刊行の
日本中世史入門
好評につき、
大幅増補・改訂して
絶賛発売中！
240頁増！

まえがき…秋山哲雄・田中大喜・野口華世

Ⅰ「歴史学」を学ぶということ

Ⅱ 論文を書こう——歴史学研究の方法を学ぶ

Ⅲ 日本中世史研究の現在

中世摂関家論◉中世的権門としての摂関家…高松百香
院政論◉政治史と家族史の融合…佐伯智広
平家政権論◉平家政権論の軌跡とこれから…前田英之
中世前期国家財政論◉税制・財政史から中世国家・社会の成立を考えるために…守田逸人
荘園史研究◉中世天皇家の荘園の意味を考える…野口華世
中世武士論◉中世武士のとらえ方はどう変わったか…伊藤瑠美
鎌倉幕府論◉中世の特質を明らかにする…秋山哲雄
鎌倉幕府文士論◉鎌倉幕府を支える様々な人々…赤澤春彦
鎌倉期守護論◉幕府による全国統治の実態に迫る…西田友広
中世前期法制史研究◉鎌倉幕府の法と裁判へのまなざし…木下竜馬
鎌倉幕府御家人制論◉鎌倉幕府御家人制が中世後期に遺したもの…清水　亮
中世武士団論◉中世の武士と社会の特質を考える…田中大喜
朝廷下級官人論◉朝廷を支える官僚システム…遠藤珠紀
室町殿論◉新たなる権力者像の〈発見〉…大田壮一郎
室町期守護論◉室町期守護論の「これまで」と「これから」…大藪　海
中世後期法制史研究◉室町幕府法からみた中世後期の「法」の特質…松園潤一朗
中世寺院史◉中世寺院と顕密体制を考える…石田浩子
中世村落・環境史◉生活の舞台としての村落をどうとらえるか…高木徳郎
中世交通・流通論◉水陸のみちを考える…藤本頼人
中世経済史◉中世人の生活を探る…川戸貴史
中世都市論◉都市の輪郭について考える…三枝暁子
中世身分論◉身分と集団から中世社会を考える…辻　浩和
中世東国史研究◉地域史と国家史のあわいで…植田真平
中世日本・東アジア交流史◉外国との関わりを考える…伊川健二
中世日本境界領域論◉東アジア交流の玄関口としての境界領域…荒木和憲
古文書学を学ぶ人のために◉史料論の時代における古文書学の可能性…佐藤雄基
中世絵画史料論◉絵画にかくされたもうひとつの日本文化…黒田　智
中世考古資料論◉中世考古学の方法…村木二郎

執筆者一覧
あとがき——増補改訂版の刊行に寄せて…秋山哲雄・田中大喜・野口華世
研究概念・用語索引

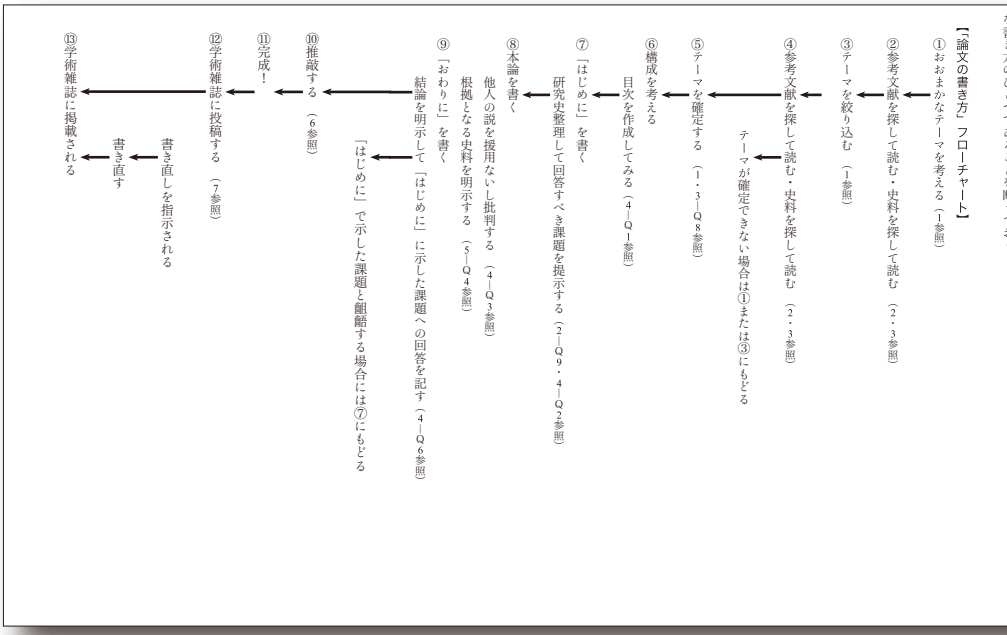
本体二、八〇〇円（+税）
A5判並製カバー装
六〇八頁・二〇二一年二月刊行
ISBN978-4-585-22280-4 C0021

書　名	部数
増補改訂版 **日本中世史入門——論文を書こう** **秋山哲雄・田中大喜・野口華世**〈編〉 本体3,800円（+税） A5判並製カバー装・608頁 2021年2月刊行 978-4-585-22280-4 C0021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

「Ⅱ 論文を書こう」では、
論文執筆から投稿までのプロセスをフローチャートでわかりやすく紹介。
各段階で押さえておきたいポイントはQ&A方式で詳しく説明。



はじめに

論文を書くという作業は、これまで進めてきた研究を文章としてまとめて新見を学界に問い、学問の進展に寄与することである。それだけに論文は、すぐに書けるものではない。ねばりづよく参考文献や史料と向き合ってテーマを絞り、どうすれば自分の主張を説得力のあるものにできるかを熟慮して構成を考え、史料を深く読み込んで我田引水とならないよう本論を慎重に書き進め、読者に自分の意図が伝わるよう丁寧に文章を推敲し、全体に矛盾がないかを広い視野で見直して、ようやく書き上がるものである。

おおまかなフローチャートを左に示したので、まずはこれを参照しながら、後につづく項目を読み進めていただきたい。迷ったら、面倒でもそれぞれの項目を何度でも確認していけば、必ずや納得できる論文を書き上げることができるはずである。

なお、論文を書く方法は幾通りもあるだろうし、人によっても異なる。ここで示すのは、その中の一般的な書き方のひとつであることを断っておく。

【「論文の書き方」フローチャート】

①おおまかなテーマを考える（1参照）
↓
②参考文献を探して読む・史料を探して読む（2・3参照）
↓
③テーマを絞り込む（1参照）
↓
④参考文献を探して読む・史料を探して読む（2・3参照）
↓
テーマが確定できない場合は①または③にもどる
↓
⑤テーマを確定する（1・3―Q8参照）
↓
⑥構成を考える
目次を作成してみる（4―Q1参照）
↓
⑦「はじめに」を書く
研究史整理して回答すべき課題を提示する（2―Q9・4―Q2参照）
↓
⑧本論を書く
他人の説を援用ないし批判する（4―Q3参照）
根拠となる史料を明示する（5―Q4参照）
↓
⑨「おわりに」を書く
結論を明示して「はじめに」に示した課題への回答を記す（4―Q6参照）
↓
「はじめに」で示した課題と齟齬する場合には⑦にもどる
↓
⑩推敲する（6参照）
↓
⑪完成！
↓
⑫学術雑誌に投稿する（7参照）
↓
書き直しを指示される
書き直す
↓
⑬学術雑誌に掲載される

◉頁見本

4 構成を考える

Q1 書く前にまずやることは？

1でテーマを決め、2・3でそのテーマに関する参考文献や史料を読んだら、ようやく論文を執筆できる段階となる。論文を書く前には、まず全体の目次を考えることをお勧めする。目次は、当然のことながら、書き進めていくうちに変わることもあるが、最初におおまかな目次（＝「流れ」）を考えておくと、論文の筋道が整理できて、わかりやすい論文を書くことができる。

目次は、「はじめに→本論→おわりに」という構成をとることが多い。本論は、3章から4章の構成にすると、書きやすいだろう。また、それぞれの章の中を、さらにいくつかの節にわけると、読む側・書く側の双方にとって、わかりやすい内容になる。たとえば、【例1】～【例3】のような目次が考えられる。

すでに読んだ参考文献や史料を、どの章や節で引用するのかを考えながら目次をふくらませていけば、論文の形に近づいていくはずである。まずは目次をじっくりと考えよう。

【例1】

「武士団結合の複合的展開と公武権力」
はじめに
第一章　族縁的結合と地域的結合
　第一節　鎌倉期武士団の一族結合
　第二節　本領の形成と地域的結合
　第三節　町場と地域的結合
　第四節　小括
第二章　一族結合と惣領制
　第一節　惣領制の形成と展開
　第二節　惣領職の成立
　第三節　家督と惣領
　第四節　小括
第三章　南北朝・室町期の武士団と荘園制
　第一節　南北朝内乱と領域的所領の形成
　第二節　室町幕府の戦争＝荘園政策と武士団
　第三節　室町期の荘園制と惣領制
　第四節　小括
おわりに

【例2】

「鎌倉と鎌倉幕府」
はじめに
第一章　鎌倉と鎌倉幕府の「独立」過程
　第一節　鎌倉幕府の成立と鎌倉
　第二節　鎌倉と鎌倉幕府の「独立」
　第三節　小括
第二章　鎌倉の求心力
　第一節　裁許の求心力
　第二節　経済の求心力
　第三節　宗教の求心力
　第四節　小括
第三章　鎌倉の多核化
　第一節　将軍求心力の変化
　第二節　鎌倉の「地子」と「地主」
　第三節　鎌倉の「宿所」
　第四節　小括
おわりに

【例3】

「中世前期公家社会の変容」
はじめに
第一章　女院領とその意義
　第一節　女院領の成立
　第二節　御願寺の継承とその意義
　第三節　小括
第二章　鎌倉前期の知行者と後鳥羽院
　第一節　鎌倉期の安嘉門院による継承
　第二節　後鳥羽院による知行者の改替
　第三節　知行者改替の要因とその影響
　第四節　承久の乱後の知行者の論理
　第五節　小括
第三章　鎌倉後期の知行者の再編
　第一節　安楽寿院の再編
　（1）亀山院による知行者の再配置
　（2）知行者再配置の意味
　第二節　安楽寿院領知行者のその後
　第三節　知行者の家領形成
　第四節　小括
おわりに

Q2 「はじめに」で書くべきことは？

「はじめに」では、論文で扱うテーマに関する研究史の整理を行う。研究史整理を通して、現時点までに明らかにされてきたこと、そして現時点で課題として残されていることを、自分なりにまとめることになる。これによって、論文の課題を明示することができるのである。

研究史整理は、論文を書くにあたってのもっとも重要な出発点であり、準備は入念に行わなければならない。準備の際に必要な参考文献（先行研究）や史料の収集については、2・3を参照のこと。

もし「はじめに」で提示した課題が、結論と齟齬することがあれば、結論にあわせて「はじめに」を書き直そう。ただし、最終的に書き直すことになるとしても、論文を書いている最中に方向性を見失わないように、まずは「はじめに」から書きはじめた方が無難だろう。

なお、これまで研究がなされていないテーマで論文を書くこともあるだろう。その場合には、研究史がないことを指摘したうえで、なぜそのテーマを研究すべきなのか、その意義を記そう。

◉頁見本

1 テーマを決める

Q1…レポートと論文の違いは？
Q2…テーマを決める要素は？
Q3…論文にふさわしくないテーマは？
Q4…興味を持っていることが絞れないときは？
Q5…主要な通史類・講座類は？
Q6…最近の研究動向を知るには？
Q7…テーマを決める方法は？

2 参考文献を読む

Q1…参考文献とは？
Q2…ふさわしい書籍とは？
Q3…書籍を探すには？
Q4…研究論文とは？
Q5…学術雑誌とは？
Q6…研究論文を探すには？
Q7…研究論文を入手するには？
Q8…参考文献の読み方は？
Q9…参考文献を読むときに気をつけることは？
Q10…参考文献を活用するには？

3 史料を読む

Q1…史料とは？
Q2…古文書を探すには？
Q3…古記録や編纂物を探すには？
Q4…地域の史料を集めるには？
Q5…史料を読む前にすることは？
Q6…史料を読むには？
Q7…史料を読むときに気をつけることは？
Q8…参考文献と史料を読んだ後は？

4 構成を考える

Q1…書く前にまずやることは？
Q2…「はじめに」で書くべきことは？
Q3…本論で目指すことは？
Q4…本論で気をつけることは？
Q5…史料などを適切に引用するには？
Q6…「おわりに」で注意すべきことは？

5 注（註）をつける／史料を引用する

Q1…なぜ注をつけるのか？
Q2…どのようなときに注をつけるのか？
Q3…先行研究を引用する場合の注のつけ方は？
Q4…史料を引用する場合の注のつけ方は？
Q5…史料を引用する際に注意すべきことは？
Q6…一次史料と二次史料の違いは？

6 推敲する

Q1…推敲するとは？
Q2…文章を見直すときのポイントは？――その1 字句など――
Q3…文章を見直すときのポイントは？――その2 文章・段落の長さ――
Q4…誤解されない文章を書くには？

7 投稿しよう

Q1…どうやって投稿するのか？
Q2…投稿すれば必ず掲載されるのか？

7つの段階に対応した43のQ&A

中世の博多とアジア

伊藤幸司【著】

中世日本における国際交流の最前線

中世日本においてアジアへの窓口であり、
アジアにおける日本への窓口でもあった博多。
アジアの海商が来航する博多での貿易活動は、
民間取引や国家外交など、
多様で広範な国際交流のなかで展開されていた。
また、博多で展開する宗教勢力は、こうした国際交流と
密接不可分の状況で展開し、その影響はネットワークを
通じて広く列島の各所にも及んでいた。
中世の博多をもっとも特徴付ける要素である「貿易」と
「宗教」という視角から俯瞰的に考察し、中世日本最
大の国際貿易港であり、東アジア海域有数の港湾都市
であった博多の実像に迫る。
国際交流史、都市史、流通史、宗教史を架橋する
新知見を提示する画期的な一書。

【著者紹介】
伊藤幸司（いとう・こうじ）
九州大学大学院比較社会文化研究院教授。
専門は日本中世史・東アジア交流史。
著書に『中世日本の外交と禅宗』（吉川弘文館、二〇〇二年）、『日明関係史研究入門』（共編著、勉誠出版、二〇一五年）、『室町戦国日本の覇者 大内氏の世界をさぐる』（責任編集、大内氏歴史文化研究会編、勉誠出版、二〇一九年）などがある。

【目次】

カラー口絵
凡　例
序　章　中世博多研究の潮流

第一部◎貿易都市博多
第一章　港町複合体としての中世博多湾
第二章　中世博多の海商と海の道――南島路をめぐって
第三章　日朝関係における偽使の時代――博多商人の視角から
第四章　中世後期の博多とアジア

第二部◎宗教都市博多
第五章　宗教都市博多の中世――寺社を中心として
第六章　博多と鎌倉――鎌倉時代の日本禅宗界
第七章　首羅山・油山と東アジア
第八章　中世の崇福寺をめぐって
第九章　博多聖福寺と臨済宗幻住派

第三部◎博多の史料研究
第一〇章　聖福寺古図と承天寺古図――描かれた戦国時代の博多
第一一章　湖心碩鼎『頤賢録』について
終　章　アジアのなかの港市博多

史料編◎湖心碩鼎『頤賢録』
凡　例
『頤賢録』乾
『頤賢録』坤

初出一覧
研究費使用一覧
あとがき
掲載図表一覧
参考文献一覧
索　引



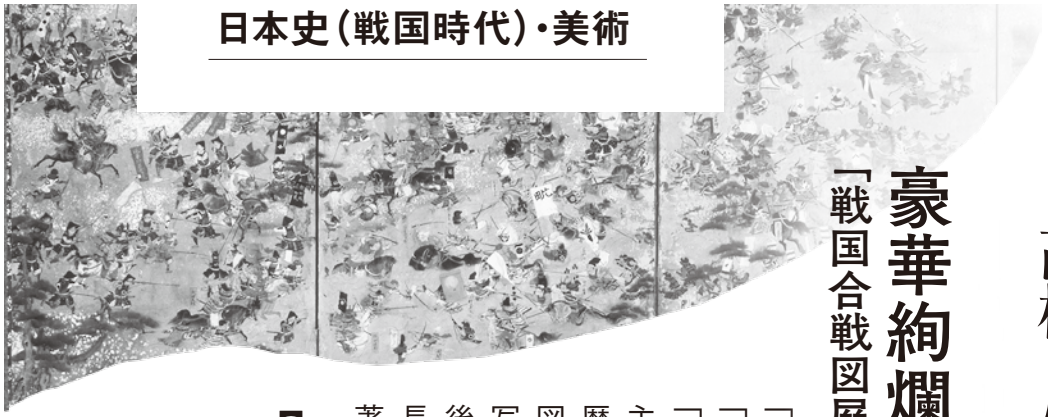
本体九、五〇〇円（+税）
A5判・上製カバー装
口絵四頁＋本文五六〇頁
二〇二一年二月刊行
ISBN978-4-585-22300-9　C3020

書　名	部　数
中世の博多とアジア　伊藤幸司［著］ 本体9,500円（+税） A5判・上製カバー装 カラー口絵4頁＋本文560頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-22300-9 C3020	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

日本史（戦国時代）・美術



戦国合戦図屏風の歴史学

高橋　修【著】

豪華絢爛！細密の極致！

「戦国合戦図屏風」はなぜ作られたのか？

「川中島合戦図屏風」
「長篠・長久手合戦図屏風」
「関ヶ原合戦図屏風」など、
主要作品20数点を、
歴史学の視点から丹念に読み解き、
図像的特徴や成立背景、
写本の普及と合戦像の定着、
後世の評価について明らかにする。
長年、合戦図屏風を追究してきた
著者による研究成果の集大成。

図版点数 223点

【著者紹介】

高橋　修（たかはし・おさむ）

茨城大学人文社会科学部教授。専門は日本中世史。主要著書に『中世武士団と地域社会』（清文堂出版、二〇〇〇年）、『図説 戦国合戦図屏風の世界』（監修、学研、二〇〇二年）、『【異説】もうひとつの川中島合戦――川中島合戦図屏風の発見』（洋泉社、二〇〇七年）、『熊谷直実 中世武士の生き方』（吉川弘文館、二〇一四年）、『信仰の中世武士団――湯浅一族と明恵』（清文堂出版、二〇一六年）などがある。

【目次】

カラー口絵
序　論…「戦国合戦図屏風」の世界

第Ⅰ部◎「川中島合戦図屏風」と甲越軍学

第一章…紀州本「川中島合戦図屏風」と紀州徳川家
第二章…軍学者宇佐美定祐について
　――紀州本「川中島合戦図屏風」の周辺
第三章…甲越軍学の軌跡
　――山本勘助と宇佐美駿河守を生みだしたもの
［補説］…享保二年（一七一七）四月十五日付
　栗林次郎左衛門（政盛）宛大河原重祐要門流印可状
第四章…山本勘助と『甲陽軍鑑』
［補説一］…狩野文庫の杉山家資料
［補説二］…「武田信玄配陣図屏風」と「武田信玄本陣之図」について
第五章…米沢市上杉博物館蔵「川中島合戦図屏風」
　――画面構成と成立背景
第六章…ミュージアム中仙道蔵「川中島合戦図屏風」の
　図像的特徴と成立背景――公武協調の時代と「上杉謙信」

第Ⅱ部◎「長篠・長久手合戦図屏風」

第七章…「長篠・長久手合戦図屏風」の概要と論点
第八章…「長久手合戦図屏風」の成立と展開
第九章…「長篠合戦図屏風」を読む
第十章…尾張・紀伊両徳川家における小牧・長久手合戦の研究と顕彰
第十一章…豊田市郷土資料館蔵「長篠・長久手合戦図屏風」の
　図像的特徴と成立背景

第Ⅲ部◎「合戦図屏風」の諸相

第十二章…「賤ヶ岳合戦図屏風」と『川角太閤記』
第十三章…「蔚山合戦図屏風」（「朝鮮軍陣図屏風」）の成立と展開
第十四章…和歌山県立博物館蔵「壬辰倭乱図屏風」について
第十五章…「関ヶ原合戦図屏風」の概要と研究の現状
第十六章…解題「長谷堂合戦図屏風」
第十七章…「湊川合戦図屏風」の世界
第十八章…「結城合戦絵詞」とは何か
補　論…その他の作品の手引き
総　論…総括と課題
戦国合戦図屏風所在一覧
あとがき／初出一覧／索　引

本体9,000円（+税）
A5判・上製カバー装
カラー口絵32頁+本文496頁
ISBN978-4-585-22301-6　C3021
2021年2月発売

書　名	部　数
戦国合戦図屏風の歴史学 高橋　修［著］ 本体9,000円（+税） A5判・上製カバー装 カラー口絵32頁+本文496頁 2021年2月発売 ISBN978-4-585-22301-6 C3021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

鷹狩（たかがり）の日本史

福田千鶴・武井弘一［編］

知られざるヒトとタカの関係史

飼い慣らした鷹を自在に操り、獲物を捕らえる狩猟、鷹狩。
五世紀の古墳時代から
江戸幕府瓦解の十九世紀後半に至るまで、
鷹狩は権力と深く結びつきながら
日本列島において連綿と続けられてきた。
そこには、日本の風土や社会のなかで
地域・時代・階層、あるいは狩猟の目的等にあわせて
独自に発展してきた固有の歴史が存在する。
日本史を貫く重要な要素でありながら、
等閑視されてきた鷹狩の歴史を紐解き、
新たな知の沃野を拓く刺激的な一冊。



編者プロフィール

福田千鶴（ふくだ・ちづる）
一九六一年生まれ。九州大学基幹教育院教授。鷹・鷹場・環境研究会代表。専門は日本近世史。著書に『幕藩制的秩序と御家騒動』（校倉書房、一九九九年）、『徳川綱吉』（山川出版社、二〇一〇年）、『近世武家社会の奥向構造』（吉川弘文館、二〇一八年）、『城割の作法』（吉川弘文館、二〇二〇年）などがある。

武井弘一（たけい・こういち）
一九七一年生まれ。琉球大学国際地域創造学部准教授。鷹・鷹場・環境研究会副代表。専門は日本近世史。著書に『鉄砲を手放さなかった百姓たち』（朝日新聞出版、二〇一〇年）、『江戸 日本の転換点』（NHK出版、二〇一五年）、『茶と琉球人』（岩波書店、二〇一八年）などがある。

本体三、八〇〇円（＋税）
A5並製カバー装・三六八頁
二〇二一年二月刊行
ISBN978-4-585-22297-2 C1021

目次

序　章　鷹狩の日本史◎福田千鶴

第1部　古代から近世までの通史的展開
第1章　古代日本の鷹狩◎森田喜久男
第2章　中世日本の鷹狩◎中澤克昭
第3章　近世日本の鷹狩◎武井弘一
【コラム1】鷹・馬・犬からみた生類憐みの令◎兼平賢治
【コラム2】山林原野の明治維新と御猟場◎江藤彰彦

第2部　鷹と人との関係史
第4章　鷹の種類と調教◎福田千鶴
【コラム3】琉球の鷹狩儀礼と生態系◎武井弘一
第5章　鷹狩をめぐる江戸時代のツルの「保護」と人との関わり◎久井貴世
第6章　琵琶湖の水鳥猟と鷹場◎東　幸代
【コラム4】鳥取藩「湖山鴨堀」と周辺環境◎来見田博基
第7章　越後国村上藩主松平直矩の鷹と鷹狩◎渡部浩二
第8章　大洲藩の狩――御鷹野場と生業◎東　昇
第9章　尾張藩家臣の鷹場――鷹場は人々の生活にどう関わったか◎山﨑久登
【コラム5】「さだ六とシロ」の物語◎福田千鶴

第3部　日本列島における鷹の諸相
第10章　「御鷹」の献上・下賜◎越坂裕太
【コラム6】「御鷹」拝領と「御鷹」飼捉飼――武鑑を糸口に◎藤實久美子
第11章　松前藩と鷹鳥屋場知行◎榎森　進
【コラム7】将軍の鷹と馬◎兼平賢治
第12章　盛岡藩の鷹と巣鷹の捕獲◎中野渡一耕
【コラム8】参勤交代にみる鷹の役割◎来見田博基
第13章　南九州における鷹巣山について――米良山を中心に◎大賀郁夫

第4部　鷹狩文化を担った人々
第14章　鷹詞と有職故実◎大坪　舞
第15章　鷹狩の絵画――近世初期における鷹狩への眼差し◎水野裕史
第16章　鍋島勝茂と鷹◎伊藤昭弘
第17章　鷹匠として生きる武士たち◎堀田幸義
【コラム9】江戸における鷹匠の交流◎岩淵令治
第18章　鷹書と出版文化◎藤實久美子
【コラム10】越境する鷹狩文化――中央ユーラシアを駆ける鷹狩と鷹匠の世界◎相馬拓也

あとがき◎武井弘一
執筆者紹介◎掲載図版一覧◎鷹狩年表◎索　引



書　名	部　数
鷹狩の日本史 福田千鶴・武井弘一［編］ 本体3,800円（＋税） A5判・並製・カバー装・368頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-22297-2 C1021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

中近世移行期の文化と古活字版

高木浩明［著］

人々を魅了した新たなメディア

十六世紀末、従来出版活動を行っていた寺院はもとより、天皇や将軍そして新興の豪商などをも魅了した、日本書物史における新たなメディアが誕生した。

――古活字版である。

これらは、どのような環境において、いかなる人的ネットワークのもとで刊行され、どのように享受されたのか。古典の代表作として広く享受され、多数の現存伝本を持つ下村本『平家物語』、史上稀なる豪華活字版本として製作された「嵯峨本」、そして、古活字版製作をめぐる場と人びとに着目し、長年にわたる古活字版の悉皆調査を行ってきた知見をもとに日本出版史における古活字版の時代を炙り出す。

嵯峨本諸本、『平家物語』下村本諸本の現存伝本目録を収載。

図版点数 約200点!

［著者プロフィール］

高木浩明（たかぎ・ひろあき）

清風高等学校・近畿大学文芸学部非常勤講師。専門は日本中世文学、書誌学。古活字版の悉皆調査により、第3回「岩瀬弥助記念書物文化賞」を受賞。著書、論文に「古活字版悉皆調査目録稿」（一）～（九）（鈴木俊幸編『書籍文化史』第十一～十九集、二〇一〇～一八年）、「大東急記念文庫蔵古活字版悉皆調査目録稿」（『調査研究報告』第四十号、国文学研究資料館、二〇二〇年）などがある。

［目次］

はじめに
第一部　下村本『平家物語』とその周辺
第一章　下村本『平家物語』と製作環境をめぐって
第二章　下村本『平家物語』書誌解題稿
第三章　『平家物語』十行平仮名古活字本は下村本の底本たり得るか
第四章　下村本『平家物語』とその周辺
――國學院大學図書館蔵本から考えられること
第五章　『平家物語』古活字覚一本についての覚書
第六章　古活字版『源平盛衰記』の諸版について
第二部「嵯峨本」の世界
第一章　「嵯峨本」再見――現存伝本調査報告
第二章　嵯峨本『伊勢物語』書誌考証
第二章付録　嵯峨本『伊勢物語』（慶長十三年初刊本）部分異植字一覧
第三章　古活字版『伊勢物語』書誌解題稿
第四章　嵯峨本『方丈記』書誌考証
第五章　嵯峨本『撰集抄』書誌考証
第三部　古活字版をめぐる場と人々
第一章　『百人一首抄』（幽斎抄）成立前夜
――中院通勝の果たした役割
第二章　『徒然草寿命院抄』成立前夜
――中院通勝真筆本『つれ〴〵私抄』の紹介を兼ねて
第三章　古活字版『徒然草寿命院抄』書誌解題稿
第四章　角倉素庵と学問的環境
第五章　古活字版を必要とした人々
第六章　古活字版『大和物語』の刊行年時を考える
第七章　古活字版『後漢書』の刊行年時を考える
第八章　本文は刊行者によって作られる
――要法寺版『沙石集』を糸口にして
第九章　要法寺という場について考える
第十章　二兵衛とその出版活動をめぐる覚書
おわりに／初出一覧／図版一覧／索引

本体15,000円（+税）
A5判上製カバー装・880頁
ISBN 978-4-585-20077-2・C3000
2020年11月刊行

書　名	部　数
中近世移行期の文化と古活字版 高木浩明［著］ 本体15,000円（+税） A5判上製カバー装・880頁 ISBN 978-4-585-20077-2・C3000 2020年11月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

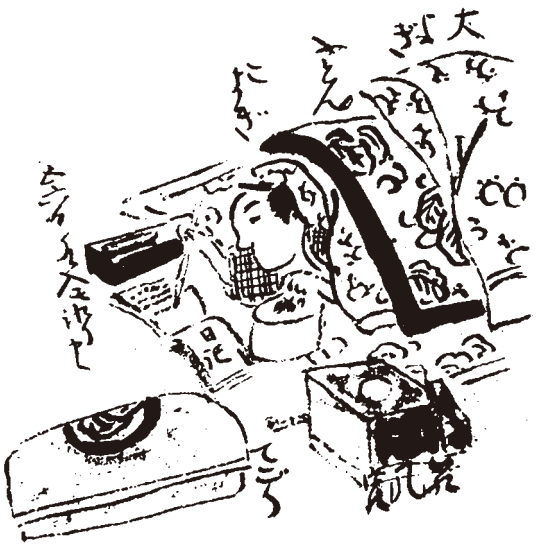
勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

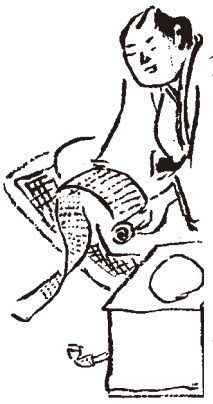
勤番武士の江戸滞在記

きんばんぶしのえどたいざいき

国枝外右馬江戸詰中日記

くにえだとうまえどづめちゅうにっき





新たな江戸像を描き出す貴重史料

天保改革期に臼杵藩士・国枝外右馬が、参勤交代で江戸勤番の間に書き残した一年分の日記史料の全編を初めて活字化。一四〇点に及ぶ挿絵とともに紹介する。四十代にして初めて見る江戸の様子や、自分の仕事ぶりを息子たちに伝える生き生きと愛らしい絵入りの詳細な記述は、研究史料として稀有なだけでなく、専門家以外の読者にも江戸の人々を身近に感じさせる興味深い史料である。外からやってきた勤番武士による江戸の報告は、地元の人間が発信するものとは異なる新たな江戸像を示すものとなるだろう。

本書の構成

カラー口絵
序文・凡例
【日記翻刻】
国枝外右馬江戸詰中日記　第一冊
　天保十三年四月～九月朔日ゟ十四日迄
国枝外右馬江戸詰中日記　第二冊
　九月十四日夕ゟ晦日迄～天保十四年五月
【解説】
解題―岩淵令治
国枝外右馬とその周辺
　放送大学千葉学習センター「古文書を読む会」
挿絵一覧・あとがき



定価一一、〇〇〇円（税込）［本体一〇、〇〇〇円］・A5判上製カバー装・五一二頁（＋カラー一六頁）・二〇二一年五月刊行・ISBN978-4-585-32000-5 C3021

岩淵令治〈編〉

（いわぶち・れいじ）一九六六年生まれ。学習院女子大学国際文化交流学部教授。専門は日本近世都市史。著書に『江戸武家地の研究』（塙書房、二〇〇四年）、『史跡で読む日本の歴史』9（編著、吉川弘文館、二〇一〇年）、『「江戸」の発見と商品化』（編著、岩田書院、二〇一四年）、論文に「巨大都市江戸における居住者と自己認識」（渡辺浩一／ヴァネッサ・ハーディング編『自己語りと記憶の比較都市史』勉誠出版、二〇一五年）、「江戸における鷹匠の交流」（福田千鶴・武井弘一編『鷹狩の日本史』勉誠出版、二〇二一年）などがある。

書　名	部数
勤番武士の江戸滞在記 国枝外右馬江戸詰中日記 岩淵令治〈編〉 定価11,000円（税込）・本体10,000円 A5判上製カバー装・512頁（＋カラー口絵16頁） 2021年5月刊行 ISBN978-4-585-32000-5 C3021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

土地の記憶から読み解く 早稲田

江戸・東京のなかの小宇宙

ミクロコスモ

ローザ・カーロリ〈著〉……一九六〇年生まれ。ヴェネツィア「カ・フォスカリ」大学教授。専門は、日本近現代史、沖縄史、江戸・東京の都市史。
大内紀彦／フィリッポ・ドルネッティ〈訳〉

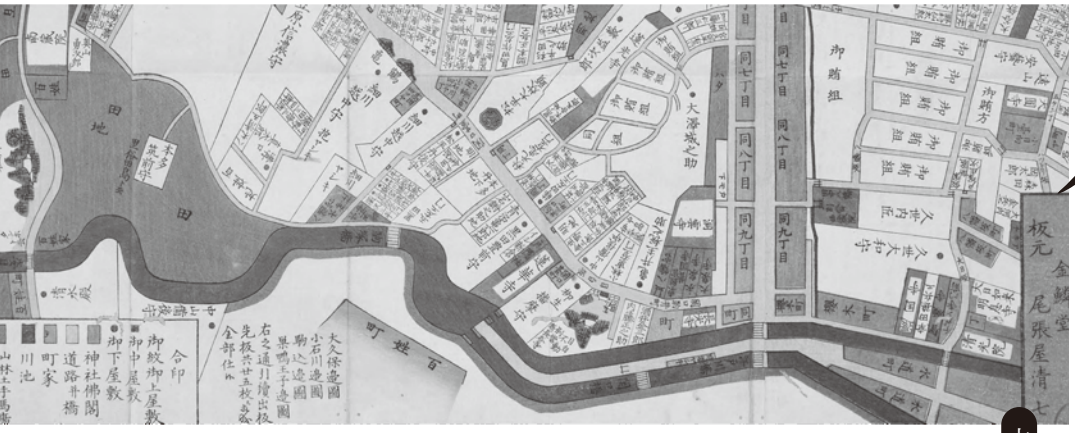
早稲田を歩き、江戸・東京を知る！

古写真・古地図
浮世絵・古文書
など、
図版点数100点超！

大都市東京の周縁、早稲田界隈。

低地と台地と、多くの坂に形どられたこの地を
歩き続けた一人のイタリア人研究者がいた。
神田川・東京専門学校・尾張藩下屋敷・穴八幡宮・
胸突坂・夏目漱石・椿山荘——
過去と現在、様々な学問領域を横断する自在な構想力で、
古代・中世・近世に遡る土地の基層を掘り起こし、
早稲田という「小宇宙（ミクロコスモ）」から、
江戸・東京という「大宇宙（マクロコスモ）」を描く。
膨大な文献・史料・地図の博捜と現地踏査から
土地の文化的・歴史的価値を発見する、

もうひとつの江戸・東京学。



本書の構成

読書案内……陣内秀信
カラー口絵
［第1章］井の頭から江戸の井戸まで
——神田川と水都としての江戸の発展
［第2章］江戸から大江戸へ
——振袖火事と早稲田界隈の下屋敷の誕生
［第3章］椿の山——神田川の北側
［第4章］早稲田

『東京の空間人類学』著者、
ブラタモリでもおなじみ、

陣内秀信先生推薦！

本体二七〇〇円（＋税）
四六判並製カバー装・二七二頁（＋カラー12頁）
二〇二一年三月中旬刊行
ISBN978-4-585-22299-6 C0021

書名		部数
土地の記憶から読み解く 早稲田 江戸・東京のなかの小宇宙 ローザ・カーロリ〈著〉大内紀彦／フィリッポ・ドルネッティ〈訳〉	本体2,700円（＋税） 四六判並製カバー装・272頁（＋カラー口絵12頁） 2021年3月刊行 ISBN978-4-585-22299-6 C0021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版 ※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

【オンデマンド新版】

パブリック・ヒストリー入門

開かれた歴史学への挑戦

菅豊・北條勝貴［編］

本体四、八〇〇円（＋税）
A5判並製
カラー八頁＋本文五〇四頁
二〇二一年三月刊行
ISBN978-4-585-82254-7 C1021

［目次］

Ⅰ 理論 Theories
Ⅱ 実践 Practices
歴史家とは誰か？
Who is the Historian?
協働
Collaboration
オーラル・ヒストリーとライティング・ヒストリー
Oral History and Writing History
ミュージアムとアーカイブズ
Museums and Archives
デジタル・パブリック・ヒストリー
Digital Public History
アートと歴史映写
Art and Historiophoty

「歴史」は、誰のものか——

人びとが語り、紡いできた歴史、
そして、人びとが歴史とともに、
歴史を糧に生きていくという行為に目を向け、
学問と社会の対話を目指す「パブリック・ヒストリー」は、
いま世界的な広がりを見せている学問分野である。
歴史学や社会学、文化人類学のみならず、
文化財レスキューや映画製作等、
さまざまな歴史実践の現場より、歴史を考え、
歴史を生きる営みを紹介。
人間と歴史との関わりを考え、
日常に活かしていくための
知識と方法を伝える貴重な一冊。

パブリックヒストリーを考えるための
日本初の概説書！

［編者紹介］

菅 豊（すが・ゆたか） 一九六三年生まれ。東京大学大学院情報学環・学際情報学府、東洋文化研究所教授。専門は民俗学。著書に『川は誰のものか——人と環境の民俗学』（吉川弘文館、二〇〇六年）、『人と動物の日本史3——動物と現代社会』（編著、吉川弘文館、二〇〇九年）、『「新しい野の学問」の時代へ——知識生産と社会実践をつなぐために』（岩波書店、二〇一三年）などがある。

北條勝貴（ほうじょう・かつたか） 一九七〇年生まれ。上智大学文学部教授。専門は東アジア環境文化史。著書に『環境と心性の文化史』上・下（共編著、勉誠出版、二〇〇三年）、『寺院縁起の古層——注釈と研究』（共編著、法藏館、二〇一五年）、『歴史を学ぶ人々のために——現在をどう生きるか』（共著、岩波書店、二〇一七年）などがある。

【執筆者一覧】

菅豊◉北條勝貴◉中澤克昭◉俵木悟
◉西村明◉市川秀之◉及川祥平
◉宮内泰介◉加藤幸治◉加藤圭木
◉金子祥之◉石井弓◉金菱清◉川田牧人
◉西村慎太郎◉小山亮◉村上忠喜
◉後藤真◉渡邉英徳◉塚原伸治
◉飯田高誉◉青原さとし◉今井友樹

書名	部数
パブリック・ヒストリー入門 開かれた歴史学への挑戦 菅豊・北條勝貴［編］ 本体4,800円（＋税） A5判並製・カラー8頁＋本文504頁 2021年3月刊行 ISBN978-4-585-82254-7 C1021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

パブリック・ヒストリー入門
開かれた歴史学への挑戦

❖もくじ

口　絵

菅　豊◉序文　パブリック・ヒストリー――現代社会において歴史学が向かうひとつの方向性

Ⅰ　理論　Theories

菅　豊◉パブリック・ヒストリーとはなにか？

北條勝貴◉〈ありのままの事実〉を支えるもの――近代日本における歴史実践の多様性

中澤克昭◉プラクティカル・パストと日本史――中世歴史実践史ノート

Ⅱ　実践　Practices

《歴史家とは誰か？　*Who is the Historian?*》

俵木　悟◉歴史と芸――神楽の過去を発掘する／演じるという歴史実践

西村　明◉いまに生きる、いまに生かす歴史的空間における歴史実践
――「Oターン郷土誌家」を目指して

市川秀之◉滋賀県下の字誌にみる歴史実践

及川祥平◉〈コラム〉「武田家属将美名録」はなぜ配られたのか――ある末裔の歴史実践

《協働　*Collaboration*》

宮内泰介◉「八重子の日記」をめぐる歴史実践

加藤幸治◉更地と工事現場からの文化創造と歴史実践
――津波被災地における復興キュレーション

加藤圭木◉朝鮮・日本の歴史認識と市民的協働
――「韓国併合」一〇〇年をめぐる日韓の運動から

金子祥之◉〈コラム〉「歴史」を回す――オビシャ行事とオニッキをめぐる歴史実践

《オーラル・ヒストリーとライティング・ヒストリー
***Oral History and Writing History*》**

石井　弓◉戦争記憶をめぐる再帰的な歴史実践
――オーラル・ヒストリーによる他者理解と自己理解

金菱　清◉オーラル・ヒストリーの敗北宣言――想像の死者へ向けた手紙

川田牧人◉〈コラム〉「歴史」する聖地創出

《ミュージアムとアーカイブズ *Museums and Archives*》

西村慎太郎◉歴史資料の保全と地域貢献

小山　亮◉東京大空襲・戦災資料センターを拠点とした
「東方社コレクション」をめぐる活動――共同研究の進展と成果の公開

村上忠喜◉〈コラム〉民俗文化財に対する内部者の目線と外部者の目線

《デジタル・パブリック・ヒストリー *Digital Public History*》

後藤　真◉歴史のデータは誰のものか――Digital Historyがもたらす未来とは

渡邉英徳◉「記憶の解凍」
――資料の〝フロー〟化とコミュニケーションの創発による記憶の継承

塚原伸治◉〈コラム〉歴史を刻む音楽――ある祭り囃子の「成長」

《アートと歴史映写　*Art and Historiophoty*》

飯田高誉◉歴史・アーカイヴズ・アートの連環
――青森EARTH〈2012 超群島〉／〈2013 すばらしい新世界〉――再魔術化するユートピア〉

青原さとし◉映像という歴史叙述

今井友樹◉〈コラム〉映像で文化を切り取る歴史実践の可能性と課題
――姫田忠義の映像製作

北條勝貴◉パブリック・ヒストリアンへの道程――あとがきにかえて

観相の文化史

人相占いに代表される「観相」の知識体系が、文学・絵画等の表現活動にどのような影響を及ぼしてきたか

古典的相書の記述と関連資料の分析により、「忘れられた日本の学問」の具体相の把握、継承性と応用の可能性を追究することを試みる。

相田 満［著］



本体九、〇〇〇円（+税）
A5判・上製カバー装
二八〇頁+カラー口絵八頁
二〇二一年二月刊行
ISBN978-4-585-29203-6 C3095

目次

序　章◉本書の概要
第Ⅰ章◉利休の顔——観相的分析の試み
第Ⅱ章◉俗相の利休　利休の顔　二
——『秀雅百人一首』に収載される異形の利休像の観相的分析
第Ⅲ章◉曲亭馬琴『南総里見八犬伝』の石龍子『神相全編正義』受容
——観相的分析の試み
第Ⅳ章◉騎馬武者像再考
——足利尊氏像主説を西川祐信『絵本武者備考』と観相の視点から考える
第Ⅴ章◉聖徳太子の観相——観相的分析の試み（渡辺信和氏と共著）
第Ⅵ章◉相書に見る声で定命を知る平安時代の観相譚
——『今昔物語集』巻六第四八の延命譚を敦煌文書と比較して分析する
第Ⅶ章◉異相をめぐる言説の系譜——重瞳を中心に
第Ⅷ章◉総論的序章　まとめと補足

著者プロフィール

相田　満（あいだ・みつる）
国文学研究資料館および総合研究大学院大学准教授。文学博士。論著等に『元号の歴史大事典・大化から令和由来と改元の理由』（監修、くもん出版、二〇一九）『時空間とオントロジで見る和漢古典学』（勉誠出版、二〇一六）『古典化するキャラクター』（アジア遊学130、勉誠出版、二〇一〇）、『和漢古典学のオントロジ』（勉誠出版、二〇〇七）など。

書　名	部　数
観相の文化史 相田 満［著］ 本体9,000円（+税） A5判・上製カバー装 280頁+カラー口絵8頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-29203-6 C3095	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

物語文学の諸相と展開

中野幸一〈著〉

平安文学研究の大家による
提言や試論を集めた必読の一書。

『源氏物語』『うつほ物語』『堤中納言物語』などの物語史を検証。
緻密な文章表現の分析により、物語世界に新たな解釈を提示する。
『平家公達草紙』『しづくににごる物語』『下燃物語』『すもり物語』『しら露物語』など
新出の物語文学資料に関する論考も充実。

〈もくじ〉

はじめに
古代物語の系譜と類別――物語史の検証――
前期物語の性格――物語史の検証――
長編物語の成立をめぐって（講演）
古物語の合成発展――短編から長編へ――
『うつほ物語』の成立年代
――史実・歳事・風俗上からの考察――
『うつほ物語』の叙述の方法――長編物語への試み――
『うつほ物語』の構造
『源氏物語』の一回性人物――その消滅型と再生型――
『源氏物語』の「かざり」について
『源氏物語』の表現方法――短文表現と再叙表現――
『源氏物語』の遡及表現
『源氏物語』の依存表現
『源氏物語』における強調・感動・傍観の草子地
『源氏物語』における「夕ばえ」の解釈について
猪苗代兼載『源氏一部抜書』の資料的価値
「物語のいできはじめのおや」考
――『竹取物語』の文学史上の地位――
「源氏取り」の物語の方法
草子地攷
『紫式部日記』の時間的構造
――その回想と執筆時期について――
『堤中納言物語』の形態とその編纂意図
『堤中納言物語』をめぐっての試論
――はたして短編物語集か――
六条斎院禖子内親王家の「物語合」について
――その発見時の成果の再吟味――
書陵部蔵の佚名物語一巻について
――『平家公達草紙』の残欠か――
『平家公達草紙』をめぐって
『しづくににごる物語』考
『下燃物語』の残欠絵巻について
――後期物語の新出資料――
『すもり物語』覚書
『しら露物語』考

定価一三、二〇〇円（税込）
［本体一二、〇〇〇円］
A5判上製カバー装・五四四頁
二〇二一年四月刊行
ISBN978-4-585-39000-8 C3095

〈著者プロフィール〉

中野幸一（なかの・こういち）
早稲田大学名誉教授。文学博士。
専攻は平安文学。二〇一一年瑞宝中綬章受章。
主な編著書に『物語文学論攷』（教育出版センター、一九七一年）、『うつほ物語の研究』（武蔵野書院、一九八一年）、『奈良絵本絵巻集』全12巻別巻3巻（早稲田大学出版部、一九八七～一九八九年）、『常用源氏物語要覧』（武蔵野書院、一九九五年）、『源氏物語古註釈叢刊』全十巻（武蔵野書院、一九七八～二〇一〇年）、『フルカラー　見る・知る・読む　源氏物語』（勉誠出版、二〇一三年）、『ちりめん本影印集成　日本昔噺輯篇』（共編、勉誠出版、二〇一四年）、『正訳　源氏物語　本文対照』全十冊（勉誠出版、二〇一五～二〇一七年）、『正訳　紫式部日記　本文対照』（勉誠出版、二〇一八年）などがある。

書　名	部　数
物語文学の諸相と展開 中野幸一［著］ 定価13,200円（税込）/本体12,000円 A5判上製カバー装・544頁 2021年4月刊行 ISBN978-4-585-39000-8 C3095	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/　FAX◉03-5215-9025

和漢朗詠集とその享受 増訂版

三木雅博〈著〉

日本にもたらされた中国の漢詩文、
それを承けて平安朝の文人たちが
つくりあげた日本の漢詩文、
一方で万葉以来展開してきた和歌、
これらが享受されていく歴史の交差点に
成立したのが『和漢朗詠集』である。
本書は『和漢朗詠集』の成立と享受を
論じることにより、
和の世界が有していた流れと
漢の世界からもたらされた流れが交錯し、
新しい流れが生み出されていく
我が国の文化の創造の過程で現れた、
一つの典型的な現象を明らかにしていく。
増補・改訂により待望の復刊。

【著者プロフィール】

三木雅博（みき・まさひろ）

一九五四年和歌山県生まれ。大阪市立大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。梅花女子大学文化表現学部日本文化学科教授。博士（文学）。専門は日中比較文学、平安朝文学。

著書に『平安詩歌の展開と中国文学』（和泉書院、一九九九年）、『平安朝漢文学鉤沈』（和泉書院、二〇一七年）、角川ソフィア文庫『和漢朗詠集現代語訳付き』（株式会社ＫＡＤＯＫＡＷＡ、二〇一三年）など。

【目次】

まえがき
序文　**伊藤正義**
増訂版の刊行にあたって
序　『和漢朗詠集』研究史の沿革と本書

第Ⅰ篇…『**和漢朗詠集**』の構成
一　『和漢朗詠集』全般の構成
　——『古今集』をはじめとする勅撰和歌集との関において——
二　『和漢朗詠集』上巻四季部の構成——先行詞華集との関連において——
三　『和漢朗詠集』下巻雑部の構成——先行詞華集との関連において——
四　『和漢朗詠集』八月十五夜・月部の構成——都の月・他郷の月——
五　『和漢朗詠集』の部立「白」に関する考察
　——『朗詠集』の構成と周辺の資料から——
六　『和漢朗詠集』帝王・親王・丞相部の所収和歌をめぐって
　——『古今集』序、同序古注（公任注）とのかかわりを視野において——

第Ⅱ篇…『**和漢朗詠集**』の本文
一　『和漢朗詠集』の享受と諸写本の本文形態の相違
二　『和漢朗詠集』古写本における佳句本文の改変をめぐって
三　『和漢朗詠集』古写本における和歌本文の異同と部立の配列
　——春部末の「藤」「躑躅」「款冬」の部立を中心に——
四　『和漢朗詠集』博士家写本の解読
　——学的情報としての注記の「読み取り」——

第Ⅲ篇…『**和漢朗詠集**』の享受と古注釈
一　院政期における和漢朗詠集注釈の展開
　——『朗詠江注』から『和漢朗詠集私注』へ——
二　『和漢朗詠集私注』の方法
三　『和漢朗詠集私注』の変貌——平安末期から
　室町期にかけての『和漢朗詠集』写本の動向と関連して——
四　鎌倉前期における和漢朗詠集注釈の展開
　——『和漢朗詠集私注』から『和漢朗詠集永済注』『和漢朗詠註抄』へ——
五　朗詠注における説話

附篇
一　『千載佳句』の部門の構成に関する考察
　——冒頭の四時部を対象として——
二　『和漢朗詠集』所引唐人賦句雑考——出処と享受の問題を中心に——

索引（事項・書名・人名・題目・詩句・和歌）

本体一五、〇〇〇円（＋税）
A5判上製カバー装・四八〇頁
二〇二〇年十二月刊行
ISBN978-4-585-29202-9　C3091

＊『和漢朗詠集とその享受』（勉誠出版、一九九五年）の増補改訂です。

書名	部数
和漢朗詠集とその享受 増訂版 三木雅博〈著〉 本体15,000円（＋税） A5判上製カバー装・480頁 2020年12月刊行 ISBN978-4-585-29202-9 C3091	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

真田幸弘点取百韻 翻刻と解題

さなだゆきひろてんとりひゃくいんほんこくとかいだい

玉城 司・小幡 伍〈編著〉

江戸時代語の宝庫、大名の点取俳諧を翻刻した資料集

真田宝物館（長野市松代町）が収蔵する松代藩第六代藩主・真田幸弘（菊貫）が同座した点取俳諧資料集『菊の分根』の百韻・五十八巻を原本に忠実に翻刻。詳細な解題・解説を附す。武家と庶民の身分を越えた交流の様相を知ることができ、また、「猪牙」（吉原通いの舟）、「素破」（忍者）、「女商・数間」（仲介業者）、「温石」（カイロ）、「列卒」（狩り場の人夫）など、〈日葡辞書〉にも採られる江戸時代語を多数含む。俳諧研究のみならず、国語学や、地方と中央を結ぶ歴史学、俳句に詠みこまれた風俗研究等の発展に大きく寄与する一書。

〈本書の特色〉

- **真田幸弘の点取百韻『菊の分根』は、連衆が大名と家臣等の武家、批点する宗匠は庶民であり、身分を越えた交流が俳諧の座でなされた様相を具体的に知ることができる。**
- **武家自らが興じた百韻の言葉から、大名等の思想や嗜好をうかがい知ることができる**
- **細川重賢の俳諧資料集『俳諧集』（出水叢書　汲古書院）との比較も可能になり、より多角的な視点から近世俳諧を考察するための基礎資料となる。**

〈もくじ〉

カラー口絵
凡　例

翻　刻

第1冊（宝暦十三年九月二十九日～明和元年八月二十四日）
植た手の／瀧守の／居酒屋に／四季の内に／四季の内に／四季のうちに／蝶は夢／梅一木／梅一木／青柳は／色こその／青簾／笠とるや／手拭に／笠取るや／鶏頭は

第2冊（明和元年十月十三日～明和二年八月）
初冬や／畠とは／百年の／初雪や／降れ霰／あれ聞けと／砂書を／穴の明く／うくゐすの／咲ふかと／暮惜しむ

第3冊（明和九年七月二十二日～安永元年十一月十六日）
誰か為そ／初秋や／根を分ける／残る蚊を／蜑は子に／放したる／草の戸や／振さくる／柿に六ツ／十六夜も／むかし聞ケ／されはこそ／磯くさき／しみ〳〵と／横乗の

第4冊（安永元年十二月三日～安永二年二月二十日）
口切や／息才を／水仙の／いや応は／一片の／口切や／水仙は／水仙の／一ツ宛／四季のうちに／思わすも／水にすむ／若菜野や／方円の／水に住む／方円の

解題・解説
解題〈全体〉
解題〈冊子ごと〉
解説
付表　明和・安永初期「菊の分根」一覧
あとがき

〈編著者プロフィール〉

玉城 司（たまき・つかさ）
上田女子短期大学特任教授。専門は近世俳諧史。
主な著書に、『蕪村句集』（角川ソフィア文庫、二〇一一年）、『一茶句集』（同二〇一三年）、共編著に、『元禄名家句集略注　上嶋鬼貫篇』（新典社、二〇二一年）などがある。

小幡 伍（おばた・あつむ）
信州大学教育学部卒業。専門は英語教育。
主な著書に、『松代歴史散策』（鬼灯書籍、二〇〇九年）、『続・松代歴史散策』（龍鳳書房、二〇一七年）、共編著に『松代見て歩き』（真田宝物館、二〇〇二年）、『真田宝物館への招待』（同、二〇〇三年）、『松代城ものがたり』（同、二〇〇四年）などがある。

本体 九、〇〇〇円（＋税）
A5判上製カバー装
カラー口絵四頁＋本文三〇四頁
二〇二一年二月刊行
ISBN978-4-585-29204-3 C3095

書　名	部　数
真田幸弘点取百韻 翻刻と解題 玉城 司・小幡 伍［編著］ 本体9,000円（＋税） A5判上製カバー装 カラー口絵4頁＋本文304頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-29204-3 C3095	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/　FAX◉03-5215-9025

中国古典文学に描かれた厠・井戸・簪

——民俗学的視点に基づく考察

山崎藍［著］



本体九、〇〇〇円（+税）
A5判上製カバー装・三三六頁
二〇二〇年十一月刊行
ISBN978-4-585-29200-5・C3098

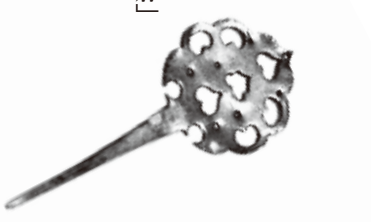
「境界」を探る——

中国古典文学に描かれる厠や井戸、それにまつわる道具や、井戸の周囲などを「めぐる」という行為には、どのような観念が存在していたのか。「異空間」のひとつとしても位置づけられている厠、そして厠神の存在。

文言小説で描かれる「境界としての井戸」の発想を用いて作られた元稹の「夢井」。白居易「長恨歌」におけるかんざし描写の独自性……古代中国の人々がそれらの場所・道具・行為をどのように認識し、如何にその象徴性を詩歌に反映させたかを綿密な資料調査と分析から考察する。従来、等閑視されてきた民俗学的視点から、詩歌研究の新たな可能性を探る快著。

［目次］

緒言
第一章　正と負の厠神
——中国における厠観
第二章　元稹「夢井」考
——中国における井戸観
第三章　元稹「夢井」における「遶井」の意味
——死者を悼む旋回儀礼
第四章　李白「長干行二首　其一」における「遶牀」
——婚姻に関する旋回儀礼
第五章　李賀「後園鑿井」考
——釣瓶と轆轤に託されたもの
第六章　白居易「長恨歌」の試み
——かんざしの喪失と破鏡重円故事
附　流れる汗・にじむ汗
——白居易における舞妓の汗描写を中心に
補論一　京都大学人文科学研究所所蔵『天地瑞祥志』第十六翻刻・校注
——「醴泉」「井」
補論二　日本の古典文学における井戸描写概説
結語
あとがき
主要参考文献一覧
英文摘要・中文摘要
索引（人名索引・作品名索引・書名索引）



［著者プロフィール］

山崎藍（やまざき・あい）
青山学院大学文学部准教授。専門は中国古典文学。主論文に「京都大学人文科学研究所所蔵『天地瑞祥志』第十六翻刻・校注——「醴泉」「井」」（名和敏光編『東アジア思想・文化の基層構造——術数と『天地瑞祥志』』汲古書院、二〇一九年）、「白居易新楽府「井底引銀瓶　止淫奔也」に詠われる「瓶沈簪折」について——唐詩に垣間見える術数文化」（水口幹記編『前近代東アジアにおける〈術数文化〉』アジア遊学二四四、二〇二〇年、勉誠出版）などがある。

書　名	部　数
中国古典文学に描かれた厠・井戸・簪 ——民俗学的視点に基づく考察 山崎藍［著］ 本体9,000円（+税） A5判上製カバー装・336頁 ISBN 978-4-585-29200-5・C3098 2020年11月刊行	部

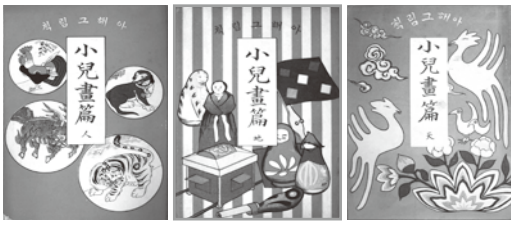
ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

韓国・朝鮮説話学の形成と展開

近代教育及び植民地経験を経た韓国・朝鮮民間説話の近代的変容を捉える。

日本人研究者の植民地主義・朝鮮人研究者の抵抗民族主義という二分法的な図式が散見される朝鮮民俗学史。しかし、そこには日本人研究者の果たした役割とその影響がきわめて大きく、朝鮮民間説話学は近代日本の学知の影響を受けながら形成されたものであった。未公開資料・新出資料を含めた膨大な近代資料を収集・整理・分析し、説話のモティーフや構造的形式の影響関係に注目。説話の歪曲という観点を乗り越え、近現代の韓国・朝鮮民間説話学の形成過程を総合的に分析し、個別説話の伝承とその変容を複合的に捉えなおし、その意味を考察する。東アジア比較民間説話学を新たに再構築する基盤を提供する一冊。



金 廣植〈著〉
Kim Kwangsik（キム・クァンシク）

一九七四年韓国生まれ。東京学芸大学大学院修了（博士）。延世大学校・東京理科大学・横浜国立大学・埼玉大学などの非常勤講師、日本学術振興会特別研究員PDを経て、『東方学志』『実践民俗学研究』などの編集委員、立教大学兼任講師。

主な著書に、『植民地期における日本語朝鮮説話集の研究――帝国日本の「学知」と朝鮮民俗学』（勉誠出版、二〇一四年）、『植民地朝鮮과 近代説話』（民俗苑、二〇一五年）、『近代日本의 朝鮮口碑文学 研究』（寶庫社、二〇一八年）、共編著に、『植民地時期日本語朝鮮説話集資料叢書』全13冊（J&C、二〇一二～二〇一四年）、編著に、『近代日本語朝鮮童話民譚集叢書』全4冊（寶庫社、二〇一八年）など多数。

〈もくじ〉

序　章
第1編　**朝鮮総督府学務局の民間伝承調査と教科書**
第1章　日本と植民地朝鮮で実施された民間伝承調査
第2章　朝鮮総督府朝鮮語教科書に収録された俚諺の収録過程
第3章　民間説話調査の内容とその意味
第4章　朝鮮総督府学務局編輯課と朝鮮民俗資料
第5章　朝鮮総督府編纂『国語読本』研究の現況と課題
第6章　韓国教科書における伝来童話の収録過程
第2編　**朝鮮説話・童話集の刊行と比較説話学の展開**
第1章　帝国日本の「日本」説話集における朝鮮と台湾
第2章　ドイツ文学者田中梅吉と朝鮮初の童話集及び絵本
第3章　朝鮮語で刊行された童話集と沈宜麟
第4章　朝鮮童話集における改作の様相
第5章　1920年前後における日韓比較説話学の展開
第6章　孫晉泰の東アジア民間説話論
第3編　**韓国・朝鮮民間説話の近代的変容**
第1章　民間説話の変容と壬辰倭乱（文禄・慶長の役）
第2章　植民地期朝鮮における日韓共通の昔話「瘤取り」
第3章　韓国における兄弟譚及び隣人譚の変容
第4章　朝鮮総督府編修官立柄教俊と「もの言う亀」
第5章　植民地期朝鮮における「三年峠」（三年坂）
第6章　近現代における「きこりと仙女」（天人女房譚）の展開
終　章
参考文献　◎ハングル及び漢文文献◎日本語文献
初出一覧／あとがき／索　引





本体一一、〇〇〇円（+税）
A5判上製カバー装・四六四頁
二〇二一年二月刊行
ISBN978-4-585-29201-2 C3098

書　名	部　数
韓国・朝鮮説話学の形成と展開 金廣植［著］ 本体11,000円（+税） A5判上製カバー装・464頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-29201-2 C3098	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/　FAX◉03-5215-9025

東アジアの歌と文字

真下 厚・遠藤耕太郎・波照間永吉 編

【アジア遊学254】

声から文字へ、文字から声への往還

声の歌が文字化されたのはいつからだろうか。
また、文字との出会いによって声の歌はどう変化したのだろうか。
日本古代の『古事記』や『万葉集』、近世琉球の『おもろさうし』、中国少数民族の歌垣など、
東アジアの様々な時代・地域・民族において創作されてきた歌表現の文字資料・[illegible]、
文学・民俗学・文化人類学の分野から検討し、
声と文字との共存・影響関係、豊かな歌文化の諸相を明らかにする。

【目次】

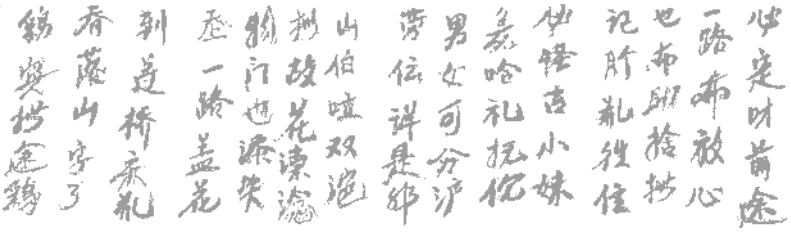
【序言】東アジアにおける歌と文字の出会い◉真下 厚
【総論】中国辺境民族の歌と文字のかかわり◉遠藤耕太郎
【総論】琉球歌謡の文字との出会い
——『おもろさうし』の記載法を中心に◉波照間永吉

Ⅰ 日本古代における歌と文字
歌における声と文字の出会いと共存◉岡部隆志
古代の歌の命
——ある手法の変貌について◉エルマコーワ・リュドミーラ

Ⅱ 琉球王国・沖縄における歌と文字
琉球王国・沖縄における歌と文字——おもろさうし◉照屋 理
琉歌と南琉球の抒情歌の文字記録◉波照間永吉
南島歌謡の記録と伝承の諸相——竹富島の巻唄をめぐって◉狩俣恵一

Ⅲ 中国少数民族における歌と文字
壮族の掛け合いうたにおける声と文字◉手塚恵子
ペー祭文における声と文字の往還◉遠藤耕太郎
中国湘西苗族の歌と文字◉真下 厚

Ⅳ 資料紹介
宮古の古謡と神歌◉本永 清
ペー族の祭文◉遠藤耕太郎



【編者紹介】

真下 厚（ましも・あつし）
元立命館大学教授。専門は日本古代文学・民俗学。
主な著書に『歌を掛け合う人々 東アジアの歌文化』（共著、三弥井書店、二〇一七年）などがある。

遠藤耕太郎（えんどう・こうたろう）
共立女子大学文芸学部教授。
専門は日本古代文学と中国少数民族文化。
主な著書に『万葉集の起源—東アジアに息づく抒情の系譜』（中公新書、二〇二〇年）などがある。

波照間永吉（はてるま・えいきち）
名桜大学大学院国際地域文化研究科（後期博士課程）。
専門は歌謡呪。
主な編著書に『定本 おもろさうし』（外間守善と共編著、角川書店、二〇〇二年）、などがある。



本体2,800円（+税）
A5判並製カバー装・208頁
ISBN978-4-585-32500-0 C1390
2021年2月刊行

書名	部数
東アジアの歌と文字 【アジア遊学No.243】 真下 厚・遠藤耕太郎・波照間永吉［編］ 本体2,800円（+税） A5判並製カバー装・208頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-32500-0 C1390	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

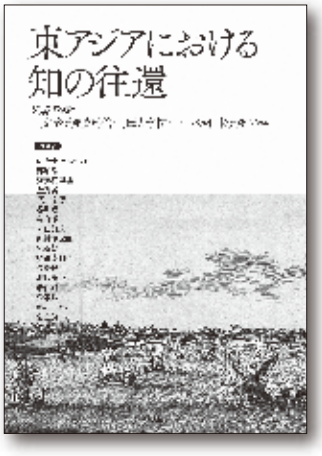
国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院 ……［共編］

東アジアにおける知の往還

【アジア遊学255】

東アジアにおける知の動態を明視する

気候危機にパンデミック、市民間の分断…。生命をも脅かす大きな困難が次々に起こる現代、我々はいかにして大量の情報を「個」として的確に受け止め、判断の材料に変換できるのか。そのための「知」を下支えするものの根拠を豊富な文献に求め、歴史的経験を留めた表現の集合体から照射することで新規の問いかけに繋げる。文学史、美術史、思想史、歴史学、アーカイブズ学など、多面的な視角から、東アジアにおける知の往還を描き出す。



定価 3,080 円（税込）本体 2,800 円
A5 判並製カバー装・200 頁
ISBN978-4-585-32501-7　C1395
2021年4月刊行

【目次】

序
刊行によせて◉ロバート キャンベル
刊行によせて◉鄭炳浩
本書の企画と構成◉齋藤真麻理・金秀美

Ⅰ 書物と文化
『栄花物語』と朝鮮王朝の宮廷文学
――『閑中録』との比較を中心として◉桜井宏徳
遺稿集の季節――二十世紀前半の日本の言説編制◉谷川惠一
近代日本の元寇図と『蒙古襲来絵詞』◉金容澈
〈コラム〉絵画と文字の表現コード
――『源氏物語絵巻』を読み解く◉金秀美
〈コラム〉奈良絵本と『徒然草』
――ジャンルを往還するメディア◉齋藤真麻理
〈コラム〉正方形の本をめぐって◉入口敦志

Ⅱ 記録と記憶
日本と韓国の災難文学と記憶
――セウォル号沈没事件と東日本大震災の災難詩を中心として◉鄭炳浩
近代福島県富岡町小良ヶ浜の文書管理――複合災害・縁故地・区有文書◉西村慎太郎
〈コラム〉『三国遺事』を巡るいくつかの知見について◉宋浣範
言語と滅刑――森鷗外『高瀬舟』において◉野網摩利子
〈コラム〉在日朝鮮人「帰国事業」の記録と記憶の文学◉金季杼

Ⅲ 都市という舞台
江戸における巨大寺院の復興と講中――築地本願寺の場合◉渡辺浩一
日本の伝統詩歌に描かれた大都京城の風土◉嚴仁卿
〈コラム〉『京城日報』と近代都市京城の表象
――横光利一の満鉄招請文学講演旅行と「天使」を中心に◉金孝順
パリが主人公
――レティフとメルシエの作品とパリの文学的神話の誕生◉ギョーム・カレ
〈コラム〉日韓の西洋探偵小説における都市表象
――エミール・ガボリオの『ルルージュ事件』を中心に◉兪在真

書　名	部　数
東アジアにおける知の往還 【アジア遊学No.243】 国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院［共編］ 定価3,080円（税込）/本体2,800円 A5判並製カバー装・200頁 2021年4月刊行 ISBN978-4-585-32501-7 C1395	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

アーネスト・サトウと蔵書の行方

『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって

プロヴィナンス

小山騰［著］

その「本」はどこから来て、どこへ行ったのか――

幕末・明治期、英国の外交官・日本研究者として活躍し、日本の古書収集家として傑出した人物であったアーネスト・サトウ。
そのサトウのコレクションの中に浮世絵の研究、特に謎の浮世絵師「写楽」の考証にとっての重要な資料である『増補浮世絵類考』が含まれていた。
作者の斎藤月岑の死後、サトウの所蔵をへて、ケンブリッジ大学図書館にたどり着くまでの期間、この本はどのような変遷をたどったのか。
写本として受け継がれた『浮世絵類考』の全般にかかわる問題にも言及しつつ、その謎を追う。

［目次］

はしがき――本題の〝まくら〟として、まず剣客と写本の話
序　章　『浮世絵類考』
第一章　『増補浮世絵類考』を入手した事情をさぐる
第二章　アーネスト・サトウの蔵書収集
第三章　サトウの蔵書の行方と蔵書目録
第四章　アンダーソンとサトウ
第五章　終　章
あとがき／参考文献一覧／人名索引



［著者プロフィール］

小山騰（こやま・のぼる）
一九四八年愛知県生まれ。成城大学文芸学部卒業。慶應大学大学院修士課程（日本史）修了。ロンドン大学UCLでPG Dip（図書館・情報学）を取得。国会図書館勤務などを経て、一九八五年から二〇一五年までケンブリッジ大学図書館日本部長。
主な編著書に、『日本の刺青と英国王室――明治期から第一次世界大戦まで』（藤原書店、二〇一〇年）、『ケンブリッジ大学図書館と近代日本研究の歩み』（勉誠出版、二〇一七年、第二十回図書館サポートフォーラム賞受賞）、『戦争と図書館――英国近代日本語コレクションの歴史』（勉誠出版、二〇一八年）などがある。

本体四二〇〇円（＋税）
四六判上製カバー装・四六四頁
二〇二〇年十一月刊行
ISBN978-4-585-20078-9・C1000

書　名	部　数
アーネスト・サトウと蔵書の行方 『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって 小山騰［著］ 本体4,200円（＋税） 四六判上製カバー装・464頁 ISBN 978-4-585-20078-9・C1000 2020年11月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

江戸川乱歩大事典

ENCYCLOPEDIA OF RAMPO EDOGAWA

稀代の推理小説作家、江戸川乱歩。

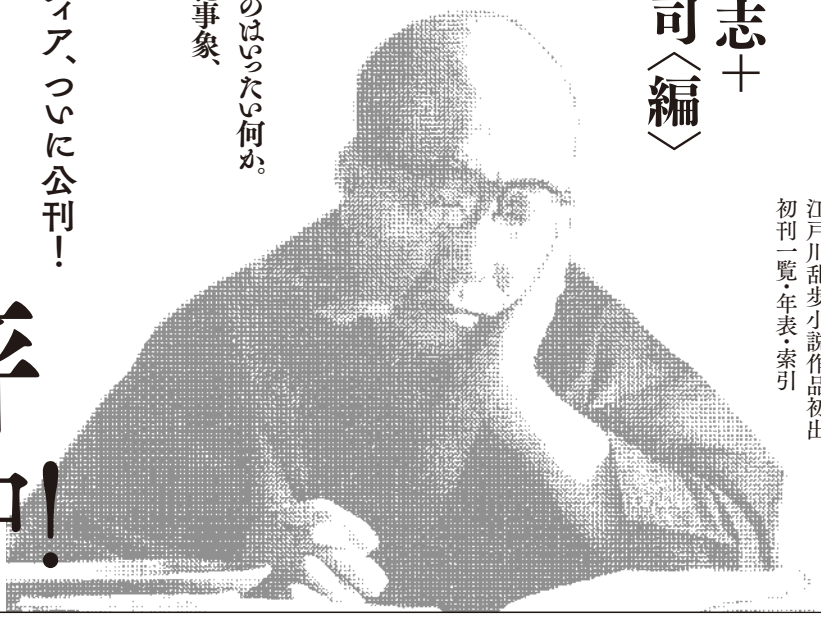
死後五十年を経て、未だ我々を魅了し続ける乱歩の創作・思考の背景にあるものはいったい何か。
乱歩の形成した人的ネットワーク、そして彼の生きた戦前戦後という時代と文化事象、
出版文化の展開とともに花開いた様々な雑誌メディアなど、
総勢七十人に及ぶ豪華執筆陣のナビゲートにより
乱歩ワールドの広がりを体感できる本邦初のエンサイクロペディア、ついに公刊！

落合教幸＋阪本博志＋
藤井淑禎＋渡辺憲司〈編〉

定価13,200円(税込)
菊判上製・912頁
2021年3月、堂々刊行！
ISBN978-4-585-20080-2 C1000



週刊読書人
4/9発売号に、
刊行記念記事掲載！
有栖川有栖氏、
佐野史郎氏、
ご寄稿！



目次

［第Ⅰ部］人間乱歩
［第Ⅱ部］社会
［第Ⅲ部］ミステリー
［第Ⅳ部］メディア
【付録】
江戸川乱歩小説作品初出
初刊一覧・年表・索引

大好評発売中！

書名	部数
江戸川乱歩大事典 落合教幸＋阪本博志＋藤井淑禎＋渡辺憲司〈編〉 定価13,200円(税込) 定価12,000円(＋税) 菊判・上製カバー装・912頁 2021年3月刊行 ISBN978-4-585-20080-2 C1000	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

おおやそういち

大宅壮一文庫解体新書

雑誌図書館の全貌とその研究活用

阪本博志［編］

大宅壮一文庫、開設50周年！
文庫の全てに迫る！

大宅壮一が収集した膨大な雑誌のコレクションを基礎として設立された大宅壮一文庫。二〇二一年、開設から五〇年を迎える大宅壮一文庫について、概要から、その誕生の歴史、そして文庫を活用した研究の実践例まで、すべてを網羅した解説書。

＊大宅壮一（一九〇〇-一九七〇）とは…

日本のジャーナリスト、ノンフィクション作家、評論家。時代の風潮を見事に裁断する独特な社会評論や人物評論で、長くマスコミ界で活躍。明快な是々非々論で広く一般大衆の支持を得た。また、「一億総白痴化」、「恐妻」、「口コミ」など、多数の造語を生んだ。

本書の特色

①「雑誌の図書館」大宅壮一文庫の概要、歴史、利用方法などを、詳細に解説。

②実際に大宅壮一文庫を利活用している執筆者陣が、文庫を利用することでどういったことが見えてくるかをまとめた論考を収録。

編者プロフィール

阪本博志（さかもと・ひろし）

帝京大学文学部社会学科教授。専門は社会学・メディア史・出版文化論。主な著書に『「平凡」の時代―一九五〇年代の大衆娯楽雑誌と若者たち』（昭和堂、二〇〇八年、第30回日本出版学会賞奨励賞・第18回橋本峰雄賞）、『江戸川乱歩大事典』（落合教幸・藤井淑禎・渡辺憲司との共編、勉誠出版、二〇二一年）などがある。

定価三、八五〇円（税込）・本体三、五〇〇円
A5並製カバー装・三〇〇頁
二〇二一年五月刊行
ISBN978-4-585-30001-4 C1000



目次

カラー口絵／はじめに◎大宅映子／本書の構成◎阪本博志

第Ⅰ章　索引的思考
――〈無思想人〉大宅壮一における知の技法◎有馬学
コラム①　ノーパン喫茶と大宅文庫
――週刊誌がおしえてくれること、くれないこと◎井上章一

第Ⅱ章　大宅壮一と大宅壮一文庫◎阪本博志
①大宅壮一文庫の誕生②大宅壮一文庫の発展③大宅壮一文庫のこれから
コラム②　大宅文庫について思うこと◎三鬼浩子

第Ⅲ章　雑誌の図書館　大宅壮一文庫
――その所蔵資料と利用方法◎鴨志田浩
①大宅壮一文庫の概要②大宅壮一文庫の迷宮書庫
③大宅壮一文庫の出版物④大宅壮一文庫の索引・検索システム
⑤大宅壮一文庫の資料閲覧と各種サービス
コラム③　長持としての大宅文庫◎永井良和

第Ⅳ章　大宅壮一文庫の活用(1)　横断的研究
雑誌アーカイブ・大宅壮一文庫――その現在と未来◎前島志保
二一世紀における大宅文庫の可能性◎鳥羽耕史
受験・教育雑誌と文学――大宅壮一文庫所蔵誌をきっかけとして◎大原祐治
出版社系週刊誌の誕生――『週刊新潮』と文学との関わりを中心に◎加藤邦彦
コラム④　「心の時代」をどうやって可視化するか◎牧野智和

第Ⅴ章　大宅壮一文庫の活用(2)　テーマ研究
「大宅壮一文庫雑誌記事索引」にみる性風俗の歴史
――「トルコ風呂」の元祖、「東京温泉」を例に◎光石亜由美
寄せ場の表象――大衆雑誌にみる高度経済成長期の「山谷」◎石川巧
話芸を書き残す――漫才作者秋田実と雑誌◎後藤美緒
間テクスト的存在としての「スケバン」◎難波功士
コラム⑤　書物のない場所――戦後文学に描かれた「書物」◎多田蔵人
あとがき◎阪本博志

書　名	部　数
おおやそういち 大宅壮一文庫解体新書 雑誌図書館の全貌とその研究活用 阪本博志［編］ 定価3,850円（税込）・本体3,500円 A5判並製カバー装・300頁 ISBN 978-4-585-30001-4・C1000 2021年5月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025